

Shibaura Institute of Technology

2019 June Vol.24

校友会 だより

創立100周年に向けて



芝浦工業大学校友会の概要と活動について

芝浦工業大学校友会は昭和3年に発足しました。本部を東京都港区に設置し、現在は海外5支部（台湾・シンガポール・上海・タイ王国・韓国）と北海道から沖縄までの地域にお住まいの卒業生で構成されている45地域の地域支部、官公庁や一般企業などに在職している校友会会員や退職されている会員で構成している職域（企業）支部が25支部、最後に学科卒業、研究グループ卒業、スポーツ等の共通するグループの卒業生で構成されている同好支部が19支部、合わせて92支部が活動されています。

校友会の目的は、会員相互の交流と親睦を深め、会員の社会貢献に寄与する活動の支援を目的としています。また、母校の教育事業に援助し、母校の発展に寄与する事を行なっています。

現状は支部と本部が連携して下記のような活動を行っています。

1. 在校生の就職支援活動
2. 在校生の研究・実習活動への協力、卒業生による「実学サロン」の開催
3. 女子学生博士（後期）課程進学奨学支援
4. 在校生主催「芝浦祭」・「大宮祭」への支援
5. 新卒業生への記念品贈呈
6. 母校開催父母懇談会への協力
7. 母校開催の賀詞交歓会への協賛
8. 母校記念事業への協力
9. 箱根駅伝予選会出場への支援活動
10. 校友会全国総会、賀詞交換会の開催
11. 校友会支部への活動支援
12. 全国卒業生名簿の追補版発行
13. 資格習得講座の提供
14. 校友倶楽部の活用

本年度も各事業活動での協賛・支援などを含め、様々な活動を行なってまいります。

芝浦工業大学校友会は、在校生、後援会ならびに教職員との連携を密にして、芝浦工業大学の社会的基盤を更に強固にするための活動をしてまいります。

最後に今年度の校友会活動にご支援ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

目次

芝浦工業大学校友会の概要と活動について	shiba-jo プラチナネットワークご紹介	10
役員挨拶	校友会活動	12
会長挨拶	インターシップ	20
委員会挨拶	支部活動報告	21
総務広報委員会	“支部旗”全国にひるがえる	47
財務委員会	校友会「会員名簿」について	47
事業委員会	芝浦工業大学校歌CDの販売	47
例規委員会	箱根駅伝！本選出場を目指して！	48
特別委員会	[大学に帰ろうキャンペーン] 芝浦祭に行こう！	48
役員紹介	常任幹事会、相談役・顧問名簿	49
常任幹事会議長紹介	支部及び支部長紹介	52
理事長挨拶	校友サロン利用のお願い	53
学長挨拶	資格取得講座のご案内	54
大学ニュース	校友会本部事務局紹介	55
	大学オリジナルグッズのご紹介	55
	在校生就職支援ご協力をお願い	56
	編集者・協力者紹介	56
	広告	57

会長挨拶



芝浦工業大学 校友会

会長

鈴木 健夫

建築学科 昭和45年卒業

全国の卒業生ご家族の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は校友会活動にご尽力、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年は4月1日に新元号「令和」が発表され、天皇陛下は4月30日に退位されて平成は31年目で幕を下ろしました。5月1日に皇太子さまが新天皇に即位され新しい時代「令和」が始まりました。元号は時代を区切り、その時代を生きる日本人の心理に深く根を下ろすと言われます。母校も昭和2年に創立され平成を経て本年「令和元年」に創立92周年を迎えます。

今年も2月に入学試験が行われ志願者数は46,505名（昨年41,734名111%増）と過去最多を更新しています。この少子化の時代に我々卒業生にとりましても大変うれしいニュースであります。この主要因としては全国の卒業生の皆様の社会での活躍と評価に因るものと思います。

4月2日に東京フォーラムに於きまして、入学式が挙行され学部2,004名・大学院470名の入学者を迎えました。その中に今年から公募で入学をした陸上部駅伝ブロックを目指す学生が6名含まれています。村上学長は2027年の創立100周年にはアジアの理工系大学のベスト10を目指すと言っていますが、もう一つ箱根駅伝本選出場を目指すと言っています。その記念すべき1期生が入ってきました。毎年5、6名を公募にて募集していくとのことでした。

校友会が提案して支援を始めて10余年ですが、大学として箱根駅伝を目指すことになりました。簡単には本選出場は難しいと思いますが、100周年までには何とか出場を果たしてほしいと期待し、校友会も支援をしていきたいと思っております。全国の卒業生と家族の皆さんが、テレビや沿道で応援できる日が一日も早く実現できるよう、皆さんと一緒に母校を応援したいと思っております。

今年の卒業生の就職率は98%と昨年とほぼ同じでした。公務員、教員試験に再チャレンジする方々、帰国する留学生もいて、なかなか100%とはならないのですが、昨年（2018年3月卒）の大手企業400社の就職者率は国公立大学の4位（東洋経済オンライン）に位置づけられています。就職に強い芝浦の面目躍如だと思います。

今後とも校友会は「在校生就職支援委員会」を強化し大学キャリアサポートセンターと一体となり在校生を支援して参りますので、全国の卒業生の関連企業等のご協力を宜しくお願い申し上げます。

結びに卒業生ならびに、ご家族の皆様のご繁栄とご健勝を心から祈念申し上げます。

副会長・総務広報委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

林田 和雄

建築学科
昭和 52 年 卒業

校友会歴

平成11年 常任幹事就任
平成15年 副会長就任 現在に至る

経歴

昭和52年 設計事務所勤務
平成11年 港区議会議員 現在に至る

芝浦工業大学は昨年、創立 100 周年を目指し、大いなる船出を致しました。また本年は、天皇陛下の譲位に伴い元号も「令和」にあらためられ、新しい時代を迎えようとしています。

現在の執行役員の任期も残すところ一年余りとなります。常任幹事の人数枠の拡大と若手の登用も着実に前進していると感じています。「組織は人」と言われるように、何事にも力ある人材の結集が為されれば組織は力を発揮できます。

本学は、創立 100 周年への目標を「アジア工科大学トップ 10」を掲げ、出発しました。卒業生として我々も、創立 100 周年までに、自分は「何をやるのか」という目標を掲げ出発したいと思います。本校の歩みに歩調を合わせ校友会・校友とともに、希望の前進を開始しようではありませんか。

また今後、校友会は国際化に対応できる組織づくりを目指していきます。近年、シンガポール支部など多くの海外支部が発足していますが、校友の皆さんが海外で活躍する後押しができる組織作りが重要です。更に「Siba-jo プラチナネットワーク」に代表される女性の活躍をささえ、その力を校友会に注いでいただける組織づくりも益々重要となります。

芝浦工業大学が世界へ人材輩出のフォートレスたることを心に刻み、また本学を支える喜びをお伝えし、総務広報委員会を代表してのご挨拶と致します。

総務広報委員会 活動内容

- ・ 広報活動の充実
 - ① 校友会 HP の充実
 - ② 各支部活動の支援体制の強化
 - ③ 校友会だよりの発行
- ・ 実学サロンの開催
- ・ 校友会職員の労働環境の充実

副会長・財務委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

吉池 富士夫

金属工学科
昭和 51 年 卒業

校友会歴

平成27年 埼玉支部長
平成29年 副会長（財務委員長）・大学評議員（校友会選出）

経歴

平成25年 (株)LIXIL 専務執行役員
平成28年 飯田グループホールディングス(株) 執行役員
平成30年 同社 社長付

校友会の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は校友会活動に格別の御高配を賜り深く御礼申し上げます。

財務委員会の主な活動としては、校友会活動の大きな幹となっている「各委員会からの年度予算要求」を整理し原案作成後、執行役員会で審議し、常任幹事会の審査承認を経ています。

海外も含むすべての校友会会員が参画できる「全国総会」にて、最終承認される「年度予算」の策定を担当しており、このプロセスと重要性については既にご多くの方々に御理解をいただいているところです。

更に、年度内の各委員会活動が予算通り執行されているかを確認し、翌年の全国総会で結果報告する大変重要な事項を担当している委員会であります。

一方で、在校生の就職活動においては、鈴見会長が委員長である就職支援委員会のメンバーとして一人でも多くの希望者が就職できるよう前向きに協議すると共に、就職セミナー・父母懇談会等の大学や後援会主催のイベントにも積極的に参加しております。

卒業生が実社会において各方面でグローバルに芝浦工業大学の「ブランド価値向上」に鋭意努力されていることは、卒業生相互の誇りでもあります。

ますます校友の輪を広めると共に大きな絆をつくり、母校芝浦工業大学と校友会の更なる発展を皆様と共に創造して参りましょう。今後とも御支援の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

財務委員会 活動内容

- ・ 基本財産及び流動資産の整理、統合、管理の徹底
- ・ 予算書、決算書の作成
- ・ 補正予算の対応
- ・ 会計監査対応

副会長・事業委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

釜井 重一

建築学科
昭和 55 年 卒業

校友会歴

平成23年 常任幹事就任
平成29年 副会長（事業委員長）就任

経 歴

平成30年 三井住友建設(株) 定年退職
平成30年 釜井建設マネジメント(株) 代表取締役就任

校友の皆様、校友会の活動に御理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

今年も、6月の第二土曜日の8日に全国総会・懇親会が品川プリンスホテル・アネックスタワー5Fで開催されます。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの年に会場を確保するために、品川プリンスホテル様にご協力いただいています。

事業委員会といたしましては、実行委員の皆様と全国総会・懇親会開催を校友会での最大のイベントと考えていますので、何か校友の親睦に資する事がございましたら、何なりとご意見ご要望をお聞かせ願えればと思います。

また、全国総会・懇親会では大学の教職員をはじめ、後援会、在校生の皆様との懇親も大切な一面ととらえています。特に在校生の様々なサークルを招待し、卒業生との交流の輪を広げようと努力しています。現在の大学の学生さん達の考え方などに校友の皆様が触れて頂ければありがたいです。

校友の一員として、芝浦工業大学が創立100周年に向かって、着実に歩んでいることを実感しています。校友会は、大学のため、在校生のため、もちろん卒業生のために「継続は力なり」を心に、一步一步着実に歩み、次の世代に引き継いでいけるよう頑張っています。

今後とも、ご指導ご支援を賜りますよう、宜しくお願い致します。

事業委員会 活動内容

- 1) 全国総会懇親会の企画運営
- 2) 新年賀詞交歓会の企画運営
- 3) 校友倶楽部運営
- 4) 他・大学開催事の協力等

副会長・例規委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

本間 哲哉

電子工学科
昭和 56 年 卒業

校友会歴

平成29年 東京総支部 副支部長
平成24年 芝浦技術士会支部 副支部長

経 歴

昭和58年 日本電気株式会社
平成 8 年 芝浦工業大学工学部 電子工学科

平成 29 年 6 月に常任幹事、同年 7 月に副会長に就任し、例規委員長として約 2 年が経過致しました。現在、例規委員会は委員 13 名と顧問 1 名の全 14 名で構成しており、例規（会則、規則、内規）を精査し、不具合点や時代にそぐわない部分を抽出し、実態と整合がとれるような規程への改正を進めております。任期中には例規集第 3 刊の発刊を目標としております。

現在、大学はグローバル化が進展し留学生も年々増加しており、海外支部の強化が重要と考えています。また、大学は自由な教育・研究や研究成果の社会への還元など幅広い活動が必須になっています。

私は、校友会会員、母校教員の両方の立場から、副会長・例規委員長の業務と併せて、大学の各部署との連携・調整に努めながら、卒業生、在校生、母校教員への継続的な支援をしていきたいと考えております。母校の 100 周年に向けた改革と校友会の発展のため、校友会本部・支部と母校との連携もさらに強化していく必要があると考えます。

今後も校友会諸先輩のご意見を賜りながら、微力ではありますが、校友会、母校のさらなる発展のために努力して参ります。

校友会の皆様のご支援を 宜しくお願い申し上げます。

例規委員会活動内容

- ・会則・規則・内規の精査と問題点の抽出
- ・例規改廃の審議
- ・最終目標：例規集第 3 刊の発刊

副会長・特別委員長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
副会長

加藤 善次郎

機械工学科
昭和 55 年 卒業

校友会歴

平成12年 常任幹事就任
平成15年より 常任幹事会議長、副会長（財務、特別委員会委員長）の役職に就任 現在に至る

経歴

昭和60年 (株)日本環境設計 設立と同時に取締役に就任
平成24年 (株)日本環境設計 代表取締役に就任
現在に至る

一昨年より、再度校友会副会長として執行役員の一員に就かせて頂きました。校友会の執行役員としては、過去に常任幹事会議長を2期、副会長（財務委員長）を2期務めさせて頂きました。一昨年より特別委員長に就任させて頂き、約2年その役職を務めさせて頂きました。

特別委員会は、現理事長の五十嵐久也理事長が校友会会長時代に、全国の校友会の活性化を目的に設立されました。母校の学生が箱根駅伝を走る姿を正月の2日、3日に目にするにより母校愛を再発掘し、校友会の活性化に繋げ、一丸となって母校の発展に寄与することを目指しています。今からおおよそ15年前の平成15年に初めて起案され、平成17年に特別委員会が発足しました。初代特別委員長は、長友隆男理事長、その後、角野元副会長、枝広前副会長へと引き継がれました。

その間、陸上部駅伝ブロックに係る支援を校友会として独自に立案、予算化し、平成24年に初めて箱根駅伝予選会に出場することが出来ました。平成24年に初出場した時は、40位でしたが、その後毎年出場し、昨年は予選会の出場は逃しましたが、一昨年は30位の成績でした。その時、4年生の矢澤健太君が出場選手中88位となり、見事学連選抜に選ばれ、皆様もご存知の通り、昨年1月2日1区を校友会、大学職員、後援会の皆様の応援を背に見事に完走しました。

その結果、大学では、創立100周年記念事業「駅伝プロジェクト」が発足し、本格的に本選出場を目指し、駅伝に特化した学生の推薦制度を開始し、今年6名が入学しました。組織体制も新たに発足し、部長に吉川総務担当理事が、総監督に長く駅伝支援を牽引してきた角野和明先輩が、監督に前田直樹さんが就任しました。

今後、特別委員会としては、今までと同様に箱根駅伝支援を行っていきます。また、学生全体の支援を新たな使命と考え、尚一層の活動の場を広げ、母校の発展に寄与していきたいと望む次第です。

特別委員会 活動内容

- ・箱根駅伝出場のための陸上部駅伝ブロック所属の学生支援（奨学金の給付等）
- ・昭和記念公園で11月に行われる箱根駅伝予選会と埼玉駅伝の応援
- ・本学学生の正課外活動の支援 など

監査役ご挨拶



芝浦工業大学 校友会
監査役

辻村 建

建築学科
昭和 46 年 卒業

校友会歴

平成23年 常任幹事 選挙管理委員長
平成26年 常任幹事 常任幹事会議長

経歴

平成12年 大末建設(株) 取締役 東京本店副本店長
大末パートナーズ(株) 代表取締役
平成24年 芝浦工業大学 施設管財部 担当部長

卒業生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。監査役を務め二年となり、校友会活動を通じ、皆様との出会いの機会を共有できますこと、ありがたく感謝申し上げます。

本年の大学入試では、伝統ある校史の中でも過去最高の志願者を数え、芝浦工業大学の社会的な高評価、ブランド力の向上を実感するところであります。

2020年の東京オリンピックで益々の脚光を浴びる豊洲にそびゆる白亜の殿堂に相応しい大学として、100周年へ向けた推進力の一翼を担うことは、校友会の重要な使命であります。卒業生が社会に貢献する事を念頭に、在校生への課外活動・就職活動支援と、卒業生の社会活動の増進に向けた取組を更に推進して参ります。

大学教職員の皆様との連携と共に、ご父母の方々との懇談会、交流会での連携強化を通じて、持続的な大学・後援会・校友会の三位一体となった相乗効果の高まりは、芝浦工業大学の強みであります。在校生支援を更に深め、卒業後の校友会活動へと伝統と、その継承を祈念する次第です。

理工学系私学のトップブランドへと弛まない変革の進む芝浦工業大学の校友会として、社会で活躍されている諸先輩、校友の皆様方との絆を更に深め、「時を大切に、母校・校友との輪を大切に」更なる母校の発展に、より一層の寄与ができますよう努めて参ります。校友の皆様からのご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

監査役ご挨拶



芝浦工業大学 校友会

監査役

小川 達生

通信工学科
昭和51年卒業

校友会歴

平成26年 本部常任幹事 就任
平成29年 本部監査役 就任 現在に至る

経歴

平成21年 (株)日新コンピュータシステム 代表取締役 就任
平成29年 (株)日新コンピュータシステム 取締役会長 就任
現在に至る

本部監査役に就任して2年になろうとしています。「在校生を100%就職させる」をモットーに活動して参りました。

近年は、学生優位の就職環境ですが、それでも10月以降内定をもらえない在校生が数多く見られます。まずは、中小企業に在校生が目を向けるよう、各地で行われる当校の父母懇談会等において、中小企業の魅力を父母・在校生に向け中小企業に入社した芝浦工業大学の若い卒業生に魅力を語らせております。

その結果、近年10人程の卒業生を当社にも入社させて頂いておりますが、ここ1年は在校生の採用がありません。現時点で昨年より内定率が決して良いわけではありません。

どうしても大企業への就職を優先したい、公務員になりたい等の理由で就職ができていないのではないのでしょうか。また、就職しなくとも生活が出来る景気状況も影響しているように思われます。

監査役としては、定期的に監査役委員会を開催し執行役員会、各種委員会、イベント等に出席しその内容を報告し、規程に則り委員会活動、本部の活動等が行われているかを検討し問題がある場合は、議事録に記述し執行役員会に報告をしています。半期ごとには、会計監査を行っております。

今後、校友会会員を増やすため自身と関係した地方の校友会活動に積極的に参加し活性化を図り、より良い校友会になるよう努力してまいります。



芝浦工業大学 校友会

監査役

飯島 敏春

機械工学科
昭和54年卒業

校友会歴

平成23年 本部選出幹事
平成26年 監査役・常任幹事

経歴

平成19年 日本通運(株) 横浜警送支店長
平成21年 日本通運(株) 関東警送支店 部長
平成29年 日通商事(株) 人事部調査役
日本通運(株) 参与

平成26年より監査役に就任して、2期5年が過ぎました。全国の校友の皆様から色々なご助言を賜り、改めて御礼申し上げます。

この間、芝浦工業大学はスーパーグローバル創成支援事業の採択を受け、5年目となり、理事長・学長並びに教職員の皆様が一丸となり高い目標に向けて、確実に前進している成果を見て参りました。大学の評価や偏差値も確実に向上しております。教職員のご努力に感謝申し上げます。

「就職に強い芝浦」と言われますが、これは校友の先輩方の勤勉なご努力の結果を各企業が評価しているものと考えます。私は学生を採用する仕事しておりますが、企業は知力（知識力・技術力）だけではなく、気力（精神力）や体力も加味して総合的採用判断を致します。

東京オリンピックを前にして昨年、豊洲校舎では学生のマラソン大会が開催されました。素晴らしい試みです。

今後は、建設工事やメーカー工場の海外勤務者が増えると思いますが、人種・宗教・環境の違いに対応できる能力も必要とされます。知力・気力・体力の備わった学生の育成の為、企業が求める人材の育成の為、文武両道の高校生を受け入れるスポーツ加点制度を制定することを目指して大学と歩調を合わせ、微力ながら校友会活動に尽力したいと考えております。

今後もご支援ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

常任幹事会議長ご挨拶



芝浦工業大学 校友会

常任幹事会議長

長谷川 健嗣

機械工学科

昭和57年卒業

校友会歴

平成26年 常任幹事就任

平成29年 常任幹事 常任幹事会議長

経歴

昭和57年 (株)吉田製作所 入社

平成29年 (株)吉田製作所 取締役 生産本部 本部長

卒業生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

常任幹事会議長の任も、間もなく丸2年を迎えようとしております。昨年同様に、執行役員会・常任幹事会・所属委員会等へ出席いたしまして、改めて皆様のご尽力に深く敬意を表する次第です。また、常任幹事の皆様にはご多忙の中、常任幹事会での熱心なご討議にも厚く御礼申し上げます。

昨年は、初めて総会議事の進行を務めさせて頂きましたが、執行役員会の皆様と事務局の皆様のお蔭をもちまして無事に閉会することができました。

例年ですと、会場で幾つかの質問を頂戴するところですが、「箱根駅伝への支援継続」についての議案につきましても満場一致で可決して頂きました。ひとえに皆様のご理解に感謝しつつ、「矢澤健太」さんの第1区での自己ベストの快走に勇気づけられた結果であると感じた次第です。

常任幹事会におきましては、一昨年同様、文倉副議長、内山副議長お二人の多大なお力添えと常任幹事の皆様からの建設的なご意見とご協力を頂いたことで、円満な議事進行を務めることが出来たことを心より感謝申し上げます。

校友会全国総会・懇親会は、一昨年・昨年に引き続き好評でありました品川プリンスホテルアネックスタワーにて開催いたします。

今年度は校友会設立90周年+（プラス）1年の年となり集客数を危ぶむ声が聞かれます。しかしながら、「2020年の箱根駅伝への予選会出場への切符は手にした」との情報もあり、本全国総会・懇親会が校友会の一層の拡大と活性化に繋がることと期待しております。

ご高承のとおり校友会は、本部及び支部選出幹事・卒業生評議員候補者幹事・学内選出幹事より構成される幹事会が基盤となっております。昨年度、常任幹事は96名が選出され活動して参りましたが、ご不幸等で欠員となってしまいました。定員は100名となっておりますので、是非、支部各位から幹事・常任幹事をご推薦頂き、校友会設立の目的である「会員相互の交流と親睦を深め、会員の社会活動の増進に寄与すると共に、母校の研究事業を援助し、母校の発展に寄与する」が強く推進されることを祈念いたします。

皆様におかれましては、校友会活動への変わらぬご理解とご参画を頂戴し、発展し続ける我が母校・芝浦工業大学の社会的基盤強化に、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

理事長挨拶



学校法人芝浦工業大学
理事長
五十嵐 久也

校友会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

校友会だよりに寄せて一言ご挨拶申し上げます。

昨年は、創立 100 周年に向けた「真価を問われる 10 年」の始まりの年であり、重要な種まきの年となりました。特に豊洲キャンパス第 2 校舎計画が大詰めを迎えていよいよ今年に着工を迎えることや大宮キャンパスの第 2 グラウンド整備、そしてテクノプラザの増強と、教育・研究環境の整備が着々と進行しております。

さて、芝浦工業大学の源流である東京高等工商学校は、1927 年に有元史朗が「社会に学び社会に貢献する技術者の育成」という建学の精神を掲げ創立し、この精神は 91 年を経た今も脈々と受け継がれ、10 万人を越える卒業生は広く社会の中核で活躍しています。そして、卒業生の弛まぬ努力の積み重ねとともに本学のブランド力は着実に向上し、一般入試における志願者数は過去最高を記録した昨年をさらに超えて 46,505 名となり、全国 21 位となりました。私学経営の根幹を成すものは安定した志願者の確保であり、優秀な入学生を集めることができるかどうかであります。

また、これまで「ブランド力の向上」という継続的な目標を掲げて努力してきたわけではありますが、昨年においては日経主要 400 社への就職率が 32% を超え全国 4 位という事実は、学生の頑張りと努力に加え、本学のブランド力が着実に向上してきていることを象徴しております。

昨年末の理事会では創立 100 周年事業として駅伝を支援することとなりました。大学にとって教育上スポーツを行うことは極めて重要であります。本年の予選会出場はもちろんのこと、まずは昨年のように学連選抜の一員として本学学生が箱根路を駆けること、そして 2027 年までにはチームでの箱根出場を目指すこととなります。

創立 100 周年にあたっては名実ともに、“日本の理工系私学トップランナー” “アジア工科系大学トップ 10” となる目標を掲げています。この達成に向けて課題は山積しておりますが、教職員のみならず校友会、後援会の皆さまとの強い連携をもって、これまで以上に新たな挑戦を続けてまいりたいと思っております。

卒業生にとって母校が有名になっていく姿を見るのは本当に嬉しいことです。皆さまにおかれましては、これからも発展の一助となっただけますようお願い申し上げます。

最後に、校友会の皆様の今後ますますのご健康を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

学 長 挨 拶



芝浦工業大学
学 長
村 上 雅 人

リクルートは、高校3年生を対象とした大学の志願度ランキングを毎年調査し、発表しています。本学は、この関東圏理工系大学ランキングにおいて2018年に、前年の15位から5位へと大きく躍進しました。その結果を報告する大学向け雑誌である「カレッジマネジメント」においても、注目校として取り上げられています。

しかし、この調査は、多分野を対象としたものであり、学問分野別での評価は明確ではありません。例えば、各大学には、看板学部や学科があり、大学の個性や伝統が反映されます。

そこで、リクルートでは、より大学の特徴を顕在化させるために、学問分野別の大学ランキングを、2019年3月に発表しました。

その結果は、電気電子情報分野では、本学の志願度は東京工大について第2位でした。以下、東大、筑波大、千葉大と続きます。機械分野では、東工大、千葉大、東大につぐ第4位です。建築土木では第5位、エネルギー分野では第7位、そして、その他の工学分野では東大について第2位でした。すべての工学分野においてトップ10入りを果たしたのです。

大変、高い評価をいただいたと身の引きしめる思いです。その背景には、本学が、2014年にスーパーグローバル大学に、日本の私立理工系で唯一採択された実績があります。また、多くの卒業生が産業界で活躍しており、就職に強い大学として認知されていることも、高位でランクインできた要因と考えています。

ただし、この結果にただ満足しているだけでは、進歩はありません。その高評価に耐えうる大学として、今後も不断の大学改革を進めていく必要があります。幸い、教職協働のおかげで、本学は、先進的な大学改革を進めている私立大学を財政的に国が支援する「私立大学等改革総合支援事業」において、唯一、全分野で6年連続採択されるという快挙を遂げました。

今後も、教育改革、研究力向上、グローバル推進、ダイバーシティ強化という課題に、全学を挙げて、教職学協働で取り組んでいきます。

本学は、100周年に向け、アジア工科系大学トップ10入りを目指しています。なかなか高い目標ですが、大学全体が一体となって前進していけば、十分、到達可能と考えています。今後も、校友の皆様の変わらぬご支援をお願いして、学長の挨拶と致します。

大学ニュース

◆システム理工学部全5学科で留学必須のプログラムがスタート

2019年度より、システム理工学部全5学科において「国際プログラム」をスタートします。国際プログラムは、留学や英語による授業履修を必須とし、グローバルに活躍できる理工系人材の育成を目的に導入されました。新生生のうち1割を上限として入学後に所属変更できるコースで、1 Semester以上の留学、英語で開講される専門科目の32単位以上の履修、英語による卒業論文の提出・発表が必須となります。

本プログラムは、2017年度より3学科で先行スタートしており、現在36人が在籍しています。今回、国際プログラムが全5学科に拡充することで、英語による専門科目の選択肢が増えます。その相乗効果として、英語での受講を希望する短期留学生も本学に誘致しやすくなり、留学生と学ぶ機会も増え、日本にいながらにして国際的なコミュニケーション力の向上が期待されます。



学内で留学生と国際研修科目に取り組む様子



ポーランドに留学中の国際プログラム所属学生

◆国際学生入寮式を開催しました

2019年3月28日、大宮キャンパスに隣接する国際学生寮にて入寮式が、寮1階の多目的スペースで実施されました。留学生26人を含む62人の新生が入寮し、計123人の寮生が新しい年度を迎えます。国際学生寮は、留学生と日本人学生の共同生活の場として2013年4月にオープンし、この度7年目となります。

日本人学生も留学生も初めての顔合わせとなり緊張した面持ちでしたが、国際学生寮レジデントアドバイザーのリーダーが紹介され、乾杯の挨拶のあとは各フロアに数人ずつ選ばれている先輩学生のRAが中心となって寮生を盛り上げました。食事会の後には、Keynote Bingoのゲームが行われ「自分の部屋の上下階に住んでいる人」や「人形を部屋に置いている人」など寮生ならではの質問をしながら当てはまる人を探しました。初対面の学生同士が話すきっかけとなり、日本人学生と留学生が英語で談笑したりする姿が多く見られました。



Shiba-jo プラチナネットワークご紹介

●学生スタッフとのミーティング実施

2018年4月19日、豊洲キャンパスにて Shiba-jo プラチナネットワークの教職員と学生メンバーが今年度の活動についての会議を実施しました。学生に対する告知方法や、芝浦工業大学附属中学高等学校や、併設校の柏中学高等学校の女子生徒を対象としたイベントや進路選びなどのサポートの可能性などの意見交換を行いました。

●柏中学高等学校にて中高生の進路選びをサポート

2018年7月7日、柏中学高等学校にてメンバーである電気工学科2年船野美和さん（現在3年）が自身の受験や進路選びなどを振り返りながら講演を行いました。入試課学生スタッフでもある船野さん。中高生の進路相談に対しても一人一人耳を傾け、アドバイスをする機会となりました。



●2018年度 懇親会開催

Shiba-jo プラチナネットワークでは、メンバー同士のつながりをつくり、深めていく機会として、メンバー懇親会を開催しています。最近では3月9日に、第4回目の懇親会を行いました。芝浦工業大学男女共同参画推進室長の大倉典子教授が大学の男女共同参画の取り組みについて説明した後、互いの仕事紹介や近況報告のほか、学生メンバーの進路相談に応えたり、今後 Shiba-jo プラチナネットワークがどのように活動を発展させていけるかについても話し合うなど、大変有意義な時間となりました。今回も大学教職員、技術開発、事務職、学生などさまざまな立場のメンバーが参加しました。今後も懇親会を重ねていきますので、興味のある方はぜひご参加ください。

◆ Facebook グループを開設しました！

この度、Shiba-jo プラチナネットワークの Facebook グループを作成しました。

メンバー同士の交流の場として活用していきたいので、ご興味のある方、ぜひ参加していただけますと幸いです。下記 URL より、グループに参加できます。

URL : <https://www.facebook.com/groups/shibajo/>

Shiba-jo プラチナネットワークとは

芝浦工業大学の女性卒業生、教職員、在学生でつくるネットワークです。2019年4月現在のメンバーは合計 170 名となりました。

異業種／同業者交流としてご自身のキャリアに活かしたり、ご自身の活動を紹介する場所、再就職のヒントを得る場所など、それぞれの立場で、メンバー同士がこのネットワークを活用しています。ぜひ、あなたの活用方法を見つけてください！

現在は、就職セミナーへの参加など女子学生への支援を中心として活動していますが、今後このネットワークを活用した活動を広げていきたいと考えています。一緒に中心となって進めて頂けるメンバー、活動におけるアドバイス頂ける方を募集中。

また、在学生支援としてセミナーなどに登壇頂ける方も募集しています。ぜひお気軽にお問い合わせください！

入会申込はこちらから

<https://goo.gl/bLzTAj>



芝浦工業大学男女共同参画推進室内 Shiba-jo プラチナネットワーク事務局

TEL : 048 (720) 6440

E-mail : desk-geuality@ow.shibaura-it.ac.jp



芝浦工業大学豊洲キャンパスにて行われた懇親会の様子



実学サロン

～ 変革の時代の経営を考える～

校友会活動に気楽に参加できる良い機会となっている

実学サロンの講師は、毎回芝浦工業大学の校友です。社会で活躍する校友や在校生にとって、ビジネス経験や研究活動の経験を聞くことは、楽しく有意義なことです。魅力的な研究開発活動、エンジニアリングやマネジメントを学ぶには、その道で体得された方に聞くのが一番です。

実学サロンの目的の一つにネットワーキング（人脈づくり）があります。卒業後、ほとんどの校友がエンジニアとして活躍され、やがてマネジャーや経営者となります。

変革の時代のマネジャーは、多様な創生力です。日本の多くの技術者が企業内の交流に終始し、異業種との交流をおろそかにしています。7年目に入った実学サロン、校友の先輩や後輩が業種を越えて情報交換する場として、実学サロンでの出会いが皆様のビジネスのお役に立ってきました。

実学サロンの企画

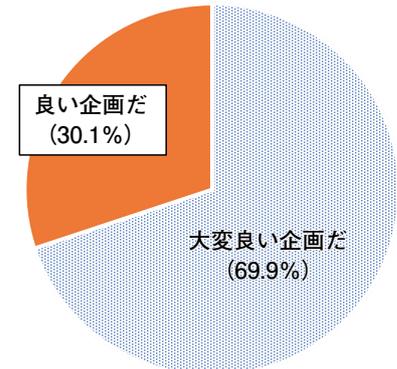


図1 アンケート集計結果 (26回～28回)



建築士としてロンドン五輪の競技場づくりに取り組んだ山崎氏は「五輪後の日本を考えることが重要」と講演（26回）で語る。



挨拶する林田和雄副会長

活躍している多様で多彩な校友との交流の場の提供

すでに28回開催している『実学サロン』、7年目になります。講師は、芝浦工業大学校友会の校友をお願いをして取り組んで参りました。28回の実学サロンの講師を務めてくれた校友の方々は、実に多様で多才であります。社会に出て活躍している校友を探し出し、ご紹介したいとの趣旨にかなった実学サロンが実行できていること、関係者のご協力に感謝しております。

アンケートには「専門外の深い講義はとても新鮮に感じました」「先輩方のためになる話を聞ける大変良い企画である」「引き続き継続をお願いします」などがあり、有意義な実学サロンとなっていることが実感でき、安心しています。今後の課題は、更に参加者を増やすこと、実学サロンを通じて、在学生が参加しやすい仕組みにできないか等、課題山積です。校友の皆様の更なるご支援をお願いします。

副会長・総務広報委員長 林田 和雄

若いメンバーを巻き込み、活気ある実学サロン

2012年7月に第1回を開催し、2016年1月末の時点で28回の実学サロンを開催することができました。60名近い参加があるときもありますが、毎回30名以上の参加者となっています。

「実学サロンの企画」に対する5段階評価のアンケート結果(図1)を見ますと、「大変良い企画(69.9%)」と「良い企画(30.1%)」の2段階のみに回答が集中しています。企画に対する参加者の満足度が非常に高いことが分かります。

実学サロンを通じて、校友が定期的に母校に集まることができる機会の提供ができていることや、知ることが難しい校友の活躍の実例にふれることなどの意義が、校友の皆様を理解されている結果だとみています。

講演終了後は、7階の校友サロンで懇親会を午後9時までの1時間余開催しています。実学サロンは無料ですが、懇親会は、実費の一部の2千円を負担頂いております。なお学生の皆さんは、無料にて参加できます。

懇親会では、講師との懇談や、校友同志での名刺交換など、先輩と後輩間での異業種交流が盛んに行われています。異業種交流の場として、役立っているとの感謝の声も聞くようになりました。是非ご参加し、ビジネスに役立てて頂き、校友の輪を広げたいと願っております。

「実学サロンの参加者が少なくてもったいない」「もっと参加してもらえないのか」等、要望が出されています。その対策の一つとして、校友会事務局では、下記に示す「実学サロン案内サービス」を行い、リピーターを増やことに取り組んでいます。

案内サービスを希望される校友の皆様は、事務局までメールにて、ご連絡ください。登録して頂きますと、次回以降の開催案内をメールにてお送り致します。

毎回100名程度の参加者を目指して、案内に工夫を凝らして取り組んでまいります。ご助言を含めてご支援いただければ幸いです。



「実学サロンでシンガーは、初めての登場です。多彩な人材を輩出している芝浦工業大学の校友の一人であるマイケル・中山氏との出会いは貴重だと思い企画をしました」と紹介する推薦者でもある司会の小平和一郎(右)。(27回)



清宮昌治氏を推薦した中根眞行氏(右)が講師紹介をした。(28回)



講演終了後の懇親会で学生と懇談する清宮昌治氏。(28回)

実学サロン開催案内連絡サービス

実学サロンの案内をメールにて希望の方は、「メールアドレス」と「氏名」と「学科・卒業年次」を校友会事務局まで、下記メールアドレスに、ご連絡ください。

E-mail : sitfriends@shibaura-koyu.jp

実学サロン開催の案内と開催実績

案内は、校友会のホームページをご覧ください。

<http://www.shibaura-koyu.jp/salon/index.html>

表1 実学サロンの開催一覧(第26回～28回)

回数	テーマ	講師	所属	卒業
第26回 2018.6.29	ロンドン五輪で働いた建築士から東京五輪へのメッセージ ＜都市をプレゼンする大会の在り方や計画立案の背景を語る＞	山崎 一也	山崎一也建築設計事務所 代表	2000年 大学院建設工学 修士課程
第27回 2018.9.28	心に響く歌を歌い続けて半世紀 ＜就職せずにジャズシンガーの道を目指す＞	マイケル 中山	ジャズシンガー	1969年 機械工学科
第28回 2019.1.25	コンサートの音づくりを手掛けて40年 ＜音楽が好きだから取り組んだ音を伝える技術＞	清宮 昌治	(株)コーストライン 代表取締役	1979年 工業経営学科

実学サロン：第26回

2018年6月29日 芝浦キャンパス内

ロンドン五輪で働いた建築士から 東京五輪へのメッセージ

— 都市をプレゼンする大会の在り方や計画立案の背景を語る —

講師 ^{やまざき かずや} 山崎 一也

(山崎一也建築設計事務所 代表)
(2000年大学院建設工学修士課程)

今回の実学サロンの講師の山崎一也氏は、若くしてロンドンにわたり、現地の設計事務所でロンドン五輪の招致の段階から、関わり合いを持ってきました。「ロンドンは五輪の開催を目的にしたのではなく、英国を世界に売り込むための壮大なプロモーションを仕掛けました。また、未来から逆算することで、どのような五輪にするかも考えた」と語っています。モノづくりやコトづくりにあたっては、何をプレゼンするかのコンセプトが重要です。山崎氏が学んだ、ロンドン五輪について、ご講演をいただきました。まさに2020年に東京オリンピックを迎えようとしています。オリンピックに関わり合いを持つ校友も多いかと思えます。山崎氏の講演を参考に、意見交換をすることができました。

2012年のロンドン五輪でサスティナブルな五輪競技場計画づくりを建築士として経験

2020年夏、東京に五輪がやってきます。東京と同じ成熟都市で開催された2012年のロンドン五輪がどのようなものであったかが注目されています。参照すべきは、五輪大会のあり方など、そこに至るまでの計画立案の背景に目を向けるべきと考えます。

2001年から2012年まで、私はロンドンで建築設計士として、一連の五輪プロジェクトに断続的に関わりました。サスティナブルな五輪競技場計画を建築士として経験し、祭りの高揚感を市民として体験しました。ロンドン五輪では「競技場は夏祭りの“脇役”でしかない」という、成熟したイギリスの考え方がありました。ネット環境や移動手段の発達により、世界がグローバル化するほど、都市や建築というローカルな魅力が最高のコンテンツになることを、ロンドンは五輪を通して世界にプレゼンしました。

「東京五輪で世界に発信すべき日本の魅力は何か」「競技場の計画」「そしてまちづくりの観点」などを実学サロン参加者の皆さんと一緒に考えることができました。

祭りやぐらでつくられた安価な施設

ロンドン五輪で一貫していたのは、五輪のような巨大イベントであっても、建築物や施設はほどほどでよいという割り切りである。「祭りやぐら」「都市の借景」「メディアを通して見得を切る」の3つのキーワードがあります。

写真2は、お金をかけずにパイプでつくられたメイン会場の外観の写真です。

建築監理をしたのは、馬術競技場で場所はグリニッジパークです。その公園自体が世界遺産で、作った2万3千人収容のスタジアムは、鉄パイプを組み合わせて作った、取り壊しを前提にしてつくりました。 Buckingham Palace 近くにつくったビーチバレーボール会場も装飾はなくパイプでつくられていて、まさに「祭りのやぐら」のつくりでした。



写真1 「五輪を目的とせず五輪後を考えた施設づくり」と語る講師の山崎一也氏

ロンドンの都市づくりに対する懐の深さ

メインスタジアムは、開会前に見た時、安っぽくみえました。開会式の演出は、素晴らしく開会前の不安を打ち消してくれました。建造物には、お金をかけていませんが、それを微塵も感じさせない演出は見事なものでした。それを見て、建築家として新たな発想の必要性を学びました。(写真2)

ロンドン五輪を作り上げた「建築物なんてこの程度でいいのさ」という、この一步引いた建築感に、大英帝国の懐の深さと余裕、都市づくりに関する歴史と成熟さを感じました

借景、競技の背景に伝統の建物を入れるよう意識

馬術競技場、障害物を跳び越した人馬の先に新金融街の高層ビルが見えています。金融街に向かってジャンプしているようでした。そこに伝統と革新の融合を見ました。(写真3)

五輪は、テレビ中継で見る人が現地で見ると何万倍も多いのです。映像もその背景をうまく取り入れた画面作りに長けていました。マラソンは、市内を3周するコースを作りました。バッキンガム宮殿やビッグベンなどの名所旧跡を回るコースにして、テレビの中継映像に都市景観が入るよう配慮していました。ロンドンの街並みを売り込んで、観光案内になっています。

五輪開催がゴールではない、五輪後の日本を考える

観光立国を目指し始めた日本。五輪後の観光を考えて東京を売り出すことを考えるべきだと思います。交通インフラは整っているし、1964年五輪でつくられた遺産も沢山あります。東京にある売り込むべき観光施設を借景にした競技場づくりに取り組み、海外の方たちに対してこの機会に東京を売り込むことがよいと考えています。

例えば、明治神宮を舞台に仮設の馬術施設をつくり、明治神宮の豊富な緑を生かし、ゴールを外国人が写真に収める大鳥居にするなどの配慮も面白いです。東京駅の丸の内側の駅前も整備されました。その前庭を使って、東京駅を借景にすることもできるし、皇居前広場など、売り込むべき景観は沢山あります。

五輪を開催することがゴールではなく、五輪を手段にして、五輪後の日本を考えることが重要だと思います。今日の参加者にも五輪施設建設の関係者が沢山いると思います。参考になれば幸いです。



写真2 ロンドンオリンピックメインスタジアム外観



写真3 グリニッジ馬術会場の外観（遠景）



写真4 ロンドン五輪のコンセプトに聞き入る校友



【講師略歴】

山崎 一也氏（やまざき かずや）氏

2000年3月芝浦工業大学大学院修士課程修了。レイモンド建築事務所を経て2001年単身渡英。ロンドンを拠点に建築設計活動を開始。ヘイクス アソシエイツ勤務時（2001～2003年）に大学の音楽堂、住宅改修、観光情報キオスク・ワイカラービジターセンター（RIBA地域賞）橋梁などに関わる。アライズ アンド モリソン アーキテクト勤務時

（2003～2012年）にロンドン五輪計画で誘致マスタープラン模型制作、レガシーマスタープラン、グリニッジ馬術 & 近代五種競技会場、キングスクロスセントパンクラス地下鉄駅改修（ICE Awards, National Rail Awards）で現場監理。2013年1月、日本に帰国。

個人活動：第243回王立アカデミーサマーエキシビション入選。イタリアベネトン店舗コンペ入選。大阪五輪2008招致活動で戎橋筋にオブジェ展示（DDA賞）など受賞。

女子美術大学や芝浦工業大学で非常勤講師など。

実学サロン：第27回

心に響く歌を歌い続けて半世紀

－ 就職せずにジャズシンガーの道を目指す －

講師 ^{まいける} **マイケル** ^{なかやま} **中山** (本名 中山重治)
(ジャズシンガー)
(昭和44年機械工学科卒業)

今回の実学サロンの講師のマイケル中山（本名：中山重治）氏は、就職が決まっていた会社を悩んだ末に辞退し、ジャズシンガーの道に入りました。その音楽の道も、プロの歌手になって50年近くになります。講演といっても、語って頂くのではなく、「マイウエイ」「モナリザ」「スマイル」などの校友にも思い出深い曲を選んで頂き、ギター弾き語りで、歌ってもらいました。約1時間30分、マイケルを引き付けた音楽にふれあい、感動のひと時を涙して過ごすことが出来ました。

エンジニアリングに対する考え方が身につきました

こんばんは。芝浦のはみだしものマイケル中山です。1969年に機械1科を卒業しました。9月で、73歳になりました。紹介をしていただいた小平君（小平和一郎 実学サロン担当）とは、一緒に軽音楽部でJAZZをやっていました。芝浦に入ったとき、機械科に願書を出しました。1科か2科かというので、1科に入ってしまったら、とんでもない厳しいところでした。ご存知の方も多いと思いますが、弓削先生という方がおりました。授業の半分はお説教です。そのお説教が、身にしみるのです。芝浦の機械1科に入ったので、エンジニアの根性を叩き込まれました。決してその講義が嫌だったのではないのです。エンジニアリングに対する考え方が身につきました。

音楽がやりたくて、就職を断った訳ではなかったのです。当時、学園紛争もあり、卒業できるかわからなかったもので、迷惑をかけてはいけないので内定を断りました。歌の道に入り色々な人に出会い50年やりました。学生時代からプロの人にも良く出会うので、歌の道で飯（めし）が食えるとは思っていなかったもので、進むつもりはありませんでした。しかし、仕事として取組み、人にも知られるようになりました。

ナットキングコールが、良く歌っている歌、『モナリザ』を聞いていただきます。絵の「モナリザ」を想い浮かべてつくった曲だと思います。

音楽の世界もある意味でモノづくりです

私の父が早稲田の電気を出たエンジニアであったので、大学に行くのであれば理工系と思っていました。工作するのは好きで、和風総本家をよく見ている、職人さんが出てくると、目を輝かせてみえています。後で考えたら、機械1科でやっていることは、私にはレベルが高かったのです。モノを作るのが好きだったのです。今でも家の中のものは、直します。子供は、おもちゃが壊れると「パパの所に持っていけ」となります。モノづくりが好きで、職人さんが好きです。

音楽の世界もある意味でモノづくりである。歌っている曲はオリジナルではないカバー曲を歌っている。そこで自分で作っていないといけないという意識があります。

次の曲『思い出のグリーングラス』は、トムジョンズが歌っています。フォークソングでも何でもないので、森山良子さんが歌って爽やかな歌にしていますが、明日の朝、絞死刑になる前の日にふるさとを想って作った曲です。

日本語の歌を歌って欲しいとの要望があるので、佐々木勉さんの歌が流行っていた『あなたのすべてを』をやります。普段歌ったことはありません。人前で歌うのは初めてです。あの頃の曲は、刻み込まれています。



高層ビル霞が関ビルを設計した池田武邦氏のエコロジー、自然回帰の気づきを紹介して「What a wonderful world」を歌う。50年前の詩の中に環境問題が歌い込められているという。

ノーベル賞のボブディラン

次はノーベル文学賞を取られた、ボブディランの歌『風に吹かれて』をやります。歌詞を直訳すると「どれくらい道を男と呼ばれないで歩いた男がいたことか。いるに違いない」。この詩が理解できませんでした。何十年か経って分かりました。白人は、白人同志ですと「ヘイメン」といいます。白人の人は、黒人に向かっては「ヘイボーイ」といいます。どんなに年を取っているおじさんでも「ヘイ、ボーイ」というのです。「ヘイ、メン」と呼ばれるようになるには、どれほどの時間がかかったかという歌です。単なる歌ではないとのメッセージです。



50年の人生が刻みこまれたマイケルの歌に皆、感動し、涙した

「いいもの聞かせてもらいました」が一番うれしい言葉

音楽における解釈を話します。クラシックであると、指揮者が自分の解釈を求めて演奏をします。私たちは耳でやります。聴いたままやると、コピーでしかないのです。コピーをしても仕方がないので自分の歌にしなければなりません。最初のころは楽譜が無いので、聞いた曲でやろうとすると、コピーでしかできません。この曲良いねと思ったら、必ず楽譜を探します。我々の世界では「ジャスト」というのですが、楽譜を見てまた覚え直す。それをしないと自分の歌になりません。

自分の歌にすることが最大の目的で、レコードを聴いてそのままやったのでは、聞いていただく人に感動を与えることはできません。聴いていただいた人に「良い声してますね」では、余りうれしくありません。いい声は、親からもらったものだからです。「いいもの聞かせてもらいました」と言われるのが一番うれしい言葉です。こちらから何か伝わっているという確信を持てるからです。

解釈がいろいろある『千の風になって』を歌います。日本では、オペラ歌手が朗々と歌っています。この曲は、9.11（ニューヨーク）追悼の式で、ネイティブアメリカンに伝わっている詩を少女が朗読しました。その詩を日本では、新井満氏が日本語に訳して、作曲もしました。新井満さんも歌っています。秋川さんのを聞いて「これはこういう歌ではない」と思い、自分の解釈で歌います。

人間の生き方と何かを考えながら、これからの人は色々やって頂くと良い

私は理科系という立場でしたが、音楽は文化系です。そういう人たちに交じって仕事していると、いやおうなしに文科系の思想が入ってきます。理科系の人は推理小説が好きです。答えが出てくる小説が好きで、答えがあるかどうかわからない文学は好まれません。ですが山本周五郎を読むと、人間の生き方を感じることができます。自然科学を否定するわけではありませんが、ここにいる多くの皆さんが第一線を退いていますが、エコロジー、人間の生き方とは何かを考えながらこれからの人は色々やって頂くと良いと思います。

『What a wonderful world』は50年の前の歌ですが、歌詞の最後に「子供の泣き声、赤ん坊の泣き声が聞こえてくる。この子たちが大きくなったら、この子たちは、我々よりも最も素晴らしいものを学んで、きっと立派にしてくれる」。歌の中で環境のことを50年前に言っています。知らないで歌っていましたが、この歌は環境のことを歌っていることに気付きました。50年前に作詞した人がすごいと思いました。

「世界はワンダフルワールド、素晴らしい。残していけないかもしれないが、次の世代は賢いから何とかしてくれるだろう」と歌っています。



【講師略歴】

マイケル 中山（本名：中山 重治）
1969年3月 芝浦工業大学機械工学科卒業
1969年4月 フリーのジャズシンガー、校友会組織「69（ムク）の会」会員。

（注）歌った歌は、①モナリザ、②思い出のグリーングラス、③あなたのすべてを、
④風に吹かれて、⑤スマイル、⑥千の風になって、⑦星に願いを、
⑧ What a wonderful world、⑨マイウェイ。

実学サロン：第28回

2019年1月25日 芝浦キャンパス内

コンサートの音づくりを手掛けて40年

－ 音楽が好きだから取り組んだ音を伝える技術 －

講師 きよみや まさはる
清宮 昌治(株)コーストライン 代表取締役
(1979年3月工業経営学科卒業)

今回の実学サロンの講師の清宮昌治氏は、コンサートを演出する裏方として、数多くの実績をお持ちです。PA (Public Address: 仮設音響) という仕事の認知度が日本では低く、市民権が得られていないと清宮氏は語ります。PAシステムの基礎と歴史を学ぶとともに、能の舞台を取り上げ、日本に於ける建築音響にも言及していただきました。イベントを演出する、コンサートを支える舞台裏の音楽秘話を含めて、演歌歌手のエピソードなどの人間模様を語れる範囲で語って頂きました。

音楽評論家になりたく、外語大を目指す

PA (ピー・エー) システムの変遷について、話します。PAとは、パブリック・アドレス (Public Address) の略です。ヒットラーの演説を多くの人に伝えようとしてマイクを使ったのがPAの原点と言われています。音響システムである、PAの変遷について説明をします。

まず、なぜこの仕事を選択したかについて話をします。高校の時から洋楽が好きで、評論家になりたかったのです。昨年のサッカーの日本代表の監督の西野朗監督は、高校の同級生です。自由な校風の学校で、彼を含め、基本的に進学指導を受けませんでした。

音楽評論家になるためには、国際基督教大学あるいは東京外語大学に入り、英語の勉強をしようと考えていました。洋楽の訳を含めて、英語が堪能でないとできません。3年生の時、古文が微積かの時に微積を選択してしまいました。担任にどこに行きたいかと聞かれ、外語大か基督教大学に行きたいと言ったら「お前、馬鹿か」と言われ、国立には行けないし、微積を取ったら文系には行けないと言われてしまい困りました。

それが第一の挫折です。文系に一番近いのが、理科大の経営工学科だというので、受けて落ちて、浪人をし、本学の工業経営学科に入りました。卒業して、PAの道に入りました。もともとは、文系の人間です。

武道館でのビートルズの講演がPAの始まり

写真2は、ビートルズの日本公演です。この時に日本のPAの歴史が始まったといわれています。武道館での講演で、はじめてPAを入れました。

当時ギターは、ギターアンプを通して流れます。ここで何が足りないかということとボーカルです。ボーカルとドラムだけが生です。ギターの電氣的音量とボーカルとのバランスをとるために、ボーカルにPAを入れました。1966年武道館のビートルズ公演、歓声によって、聞こえなかったというのが通説です。並んでいるのは、ほとんどがギターアンプです。VOXは英国製の有名なギターアンプです。

ステージ前方に設置されていたのが、ボーカルのみのPAに使用したスピーカーです。

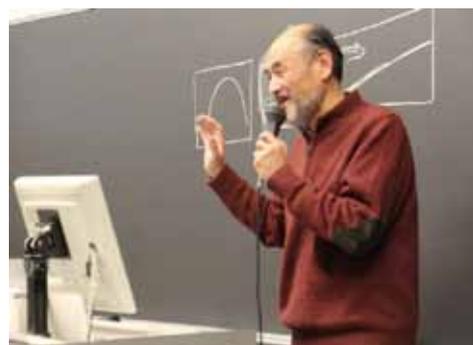


写真1 「有名タレントの舞台を見入ってしまうとミスが起こる」と語る清宮氏



写真2 ビートルズの武道館での公演 (1966) の時にPAの日本の歴史が始まった

70年代のPAの仕事は力仕事でした

1970年代のPAの仕事は力仕事でした。卒業しての仕事は、大卒、高卒に関係なくスピーカーを積み上げることでした。最近のこういう作業は、モーターで吊ってやっています。入社後2カ月ほど経つと、筋肉マンになりました。持ち上げているのは、音響レンズを装着したJBLのスピーカーです。(写真3)

皆さん原色の派手なTシャツを着ています。昔は派手でした。1980年代末頃からツアースタッフのTシャツ徐々に黒に変わって行きました。外タレの影響と言われています。

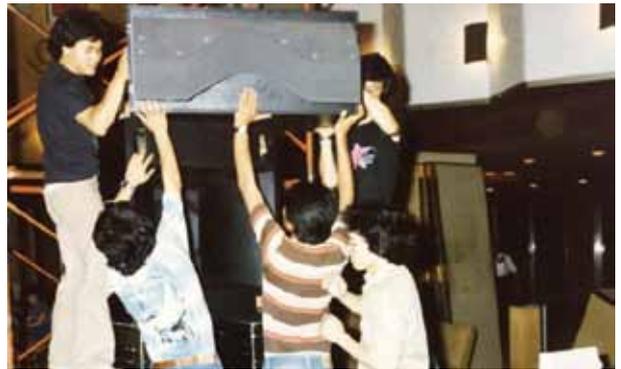


写真3 昔は派手なTシャツでした。今は黒。

デジタル化の波がおし寄せてきました

2000年代から、デジタル化の波が押し寄せ、革新的な変化が起きました。ラインアレイスピーカーは、水平の指向性を、80°としたら、80°で、90°としたら、90°になります。垂直ラインが湾曲していることで、観客席をなめるように音を届けることができます。ラインアレイは、画期的なことです。聴いて驚いたのは、飛んでくる力が強いことです。ラインアレイスピーカーは、JBLだけでなく各社が作っていて競争しています。

最近では、会場の広さ(長さ)や、垂直レベルの高さ、席の大きさをコンピュータに入れると、アレイスピーカーの配列をアレイカリキュレーターが出してくれます。手作業で「こんなんでいいんじゃないか」ではなく、「これだけの音と指向性を保つことができます」と出てきます。ただ、我々は、自分の耳を大切にしています。やはり音が違うと、自分でやり直します。「AIには負けないぞ」とやります。

情の厚い人たち多かった、ツアースタッフ

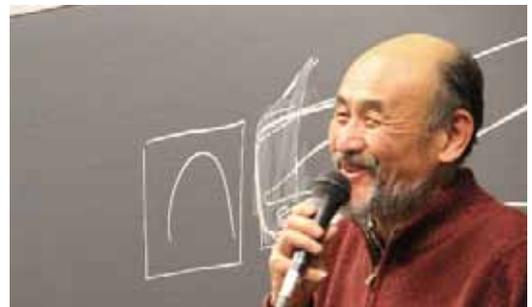
1979年に大学を卒業就職して最初に参加したツアーが「夕暮れ時はさみしそう」というフォークソングがヒットした、3人組のニュー・サディスティック・ピンクにつきました。ツアーでは、演歌でも、歌謡曲でも、フォークソングでも、ニューミュージックでも、最上位に「舞台監督」がいて、次がステージを作る「道具」と言われる人、その次に「照明」、その次に音響(PA)となります。幸運なことにバンドが入ると、バンドの楽器をセッティングする「ボウヤ」と言われる人がいて、最下位から逃げられます。

当時、地方には市民会館しかありませんでした。市民会館の管理者は公務員です。皆さん21時に退出厳守が原則です。20時に公演を終わらせて、21時までには機材をかたづけて搬入口に出したとたん、搬入口は閉められます。音響機材などを全て、4トン車に積んで終わりとなります。皆さん「地がすり」ってわかりますか。舞台は木なので、その上に「地がすり」と言われる布を舞台にひいて、舞台設備をつくります。最後に舞台から「地がすり」を撤きトラックに積み込みます。次の公演地では最初に降ろすのが「地がすり」となる訳です。

その「地がすり」を最後にしまって、トラックを閉めたとたん「清宮飲み屋を探してこい」と言われます。既に9時を過ぎています。地方は、10時には店を閉めてしまいます。しかし、地方でも「1時まで飲める店を探してこい」と言われます。コンサートは、その日限りの仕事です。なぜ飲まないといけないか、「無事終わったら、とりあえずその町でしめることが、業界の習わしです。そのしめをやらないと納得できない」。1時までやる店が、地方にはありません。携帯の無い時代です。お店を探すのには、苦労しました。打ち上げの飲み代は、偉い順にお金を出してくれます。店探しで走った分「今日は出さなくていい」となります。

裏と表の礼儀というのがあります。「決してサインは貰うな」「俺たちと看板(出演者)との間は、フィフティ・フィフティ(50・50)の関係でなければいけない」「出演者にへり下ってやることは無い」「あいつらも、へり下っていない」「その関係を保つために、サインは貰うな」と厳しく言われました。

若い人が入ってきたら、そのあたりをきちんと伝えようとしています。有名タレントの舞台を見入ってしまいますと、ミスも起こります。我々の品格をいかに保つかに苦労しています。



【講師略歴】

清宮 昌治

1979年3月 芝浦工業大学工業経営学科卒業。

1979年4月 (株)サウンドクラフト入社。

2002年 (株)コーストライン設立。

代表取締役役に就任。

インターンシップ

2018年8月27日から2週間、建築工学科3年の佐藤絢音さんを、シンガポールの病院建築現場で受け入れ、インターンシップを実施しました。シンガポール人だけでなく、日本、マレーシア、フィリピン、インド、ミャンマーなど、様々な国から来ているスタッフとコミュニケーションをとりながら、こちらで用意した、現場での工程管理や安全管理、施工図のチェックなど、様々な業務に積極的に取り組んでくれました。

また、地下鉄工事現場や病院建築現場の視察やBIM講習の中では、疑問に感じたことに対して質問し、いろいろなことを吸収したいという姿勢が感じられました。

その他、期間中にシンガポールに来られていた、五十嵐理事長の現場訪問や校友会シンガポール支部の皆様との夕食会など、大学関係者との交流もあり、業務とは違った様々な話を聞いたのではないのでしょうか。

今回実施した2週間のインターンシップは非常に中身の濃い、充実したものだったのではないかと思います。佐藤さんの今後の研究活動や将来の一助になることを切に願いますし、これまでよりもっと“モノづくり”に興味を持っていただく、きっかけになればと思います。



2018年8月27日～9月7日まで、インターンの学生を受け入れました。

<建築工学科 佐藤絢音さん>

3年夏休みの2週間シンガポールへ行き、五洋建設の建築現場でインターンシップに参加しました。当時は初めての建設現場での実習で、設計図から建物を建てるまでの工程や仕事量の多さを知ることができました。大学の授業では大まかな全体像しか分かっていませんでしたが、施主やサブコンとの契約の重要さや海外ならではの工程管理の大変さを間近で感じることができました。建設関係の仕事に就きたいと前から思っていたのですが、現場の最前線で働く人たちを見て話を聞いたことで、施工管理職を志す決意をすることができました。

また黒田所長の計らいで、シンガポールで活躍する芝浦工業大学の先輩方にもお会いすることができ、私も先輩方に続いて世界で活躍する人になりたいと強く思いました。

支部活動報告

北海道支部

支部長 米澤 稔 建築学科 昭和44年卒業

平成30年9月6日に勃発した北海道胆振東部地震により、多くの人命が失われ、地崩れやブラックアウトなど地震被害は甚大でした。被害に遭われた皆様には、心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。この震災に際して、大学、校友会本部の皆様にご心配頂き、この場を借りて、お礼申し上げます。

校友会北海道支部は6分会で構成されており、現在の登録会員数は470名ほどになります。本部の活動に協力し、本学の発展に寄与すべく年間の活動を推進しています。また、各分会および部会ごとに、忘年会・新年会・ゴルフ会などにより交流・親睦を図っています。ま

た、情報紙として「北海道支部だより」の発刊を続け、支部の貴重な歴史を刻み進んで参ります。

平成30年5月19日の第53回総会には、来賓として鈴見会長、五十嵐理事長、野口常務理事ほか後援会北海道支部の役員の皆様にご臨席を賜りました。基調講演では本学より建築学部の秋元孝之教授をお招きし、ゼロエネルギーハウスへの先進的な取り組みに関する講話を頂きました。会員一同、興味深く関心を寄せていました。

新年度においては、支部活動を活性化する為に、本校や校友会の情報提供と支部会員の拡大に努め、年間事業の充実を図っていきたいと思います。



青森支部

支部長 木村 喜有 土木工学科 昭和44年卒業

青森支部は昭和53年に発足し、今年で41年を迎えます。現在会員数は約200名です。

青森県は主要都市が分散しており遠方での支部総会開催は、なかなか会員が集まりづらいため、青森市、八戸市、弘前市と3市を巡回する形で行っています。現在青森支部の活動としては、年1回の総会の他、北海道支部函館分会との青函交流会を毎年相互地域で開催しております。

東北地区の他支部総会参加等の交流を行っています。

また、一昨年から支部総会に日程を合わせゴルフ親睦コンベンも開催しました。

地方都市の悩み同様、年々会員の高齢化が進み、若い方の入会が少ない為、支部活動の活性化に知恵を絞るものの、なかなか現状は変わりません。青森県在住の方、青森に縁のある方、是非一度ご参加ください。特に若い方、女性の方は大歓迎いたします。芝浦工業大学卒業を誇りに思い、OBのパイプを持つことはきっとプラスになると思います。



岩手支部

支部長 遠藤 龍一 建築工学科 昭和50年卒業

校友会の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

最近の岩手支部総会は、本部総会の報告を兼ねて6月下旬に開催しております。

今年度は平成30年6月30日(土)に、盛岡市駅前のホテルルイズで、芝浦工業大学 専務理事の早乙女徹様、友会副会長の中村行男様、青森支部長の木村喜有様をお迎えいたしまして、支部会員13名の参加の中、和気藹々の開催となりました。当支部も年々参加者の高齢化が進み参加者も減少傾向にあり、若い人達にも案内活動をしています。新規参加者がここ3年程無く苦慮している次第であります。

幹事会は総会前、年度末に開催(年に2、3回程度)しています。

支部行事としては年1回のゴルフ大会を10月27日に予定しておりましたが、豪雨のため中止となりました。

12月15日に支部総会で10年以上もお世話になっているホテルルイズが31年の2月で閉店することなので、有志で感謝の意を表し忘年会を行いました。

岩手在住の卒業生の皆様で支部総会にご参加されたことのない方は是非一度参加をお願いします。芝浦での話題やら、なにやらで大いに盛り上がりましょう。お待ちしております。



秋田支部

支部長 池田 広志 建築工学科 昭和55年卒業

全国の芝浦工業大学校友会の皆様から秋田支部からお便り申し上げます。

秋田支部総会は例年7月第1金曜日と決め、大学や校友会本部からも来賓を招き、平成30年は7月6日(金)に、多くの方から参加を頂いて開催いたしました。

年に一度の総会では、学校の最新情報のお話し聞きながら母校の躍進ぶりを感じ、諸先輩の様々な活躍の話題に華が咲き、元気な笑顔とともに宴は大いに盛り上がります。

今年は元号も変わり、芝浦工業大学創立100周年に向かって、新しい時代への期待感が益々高まります。私たち校友会会員は、同じ芝浦工業大学の門をくぐり、青春時代の同じ「記憶」を持つ「絆」で結ばれた同窓生です。昭和から平成、さらに新しい時代へと躍進する母校の姿を、皆さんと一緒に見守っていきたいと思います。

全国校友会の皆様、今後とも、どうぞよろしくお願ひします。



宮城支部

支部長 杉崎 年英 土木工学科 昭和48年卒業

東日本大震災から8年を迎えて

震災当時地獄絵図のようだった海岸線付近の住宅街・商業施設も、今は何事も無かったような平和なおもむきとなっている。

但し海岸線には視界を遮る防潮堤が鎮座し、ここから先は危険地域ですよと囁いているようだ。

防潮堤の内側は、震災など無かったように賑わいを取り戻しつつあるかのようだが、いまだに仮設住宅を出ら

れない生活弱者がいるのも事実だ。

完全な震災復興終結宣言は、福島原発の始末を含めていつになるものかと考えさせられる、せめて孫の代にまでは引きずりたくないものだ。

校友会仲間の絆は、震災によって深まることを期待しながら。



山形支部

支部長 川越 進 土木工学科 昭和46年卒業

数年前から、支部の活性化を図るべく庄内地区、置賜地区の分会を交互に開催しております。

昨年度は「置賜分会」を開催し、7名の置賜地区会員・5名の支部役員の計12名に参加頂きました。

徐々にですが、参加人数も多くなってきております。是非、お知り合いの同級生・同窓生に輪が広がって行ってほしいと思います。

本年度は、庄内地区の分会を開催致します。秋の予定ですので、是非ご参加ください。

総会にも支部会員合計14名の皆様に参加頂き、平成

30年度の参加者は、20名となり過去最大人数となりました。今後も参加者が増加するように活動して参りたいと思います。(目標30名)

20代30代の若い方の参加もお待ちしております。一度参加すれば楽しさが分かって頂けると思います。

<山形支部のフェイスブック開設>

<https://www.facebook.com/shibaura.yamagata>

支部の活動案内や情報を発信していきます。

皆様是非ご覧ください。



(平成30年度置賜分会)



(平成30年度総会)

栃木支部

支部長 池田 猛 土木工学科 昭和48年卒業

栃木支部の活動に際し、芝浦工大校友会より格別なご援助を賜り感謝申し上げます。

平成30年度の「栃木支部総会」は、昨年11月11日に校友会本部より依田事務局、大学から吉川理事の出席を賜り、依田事務局長から挨拶を頂いた後、平成30年度の事業計画等が満場一意で採択されました。また、今回、「大学創立100周年」に向けた支援体制の確立について議論し、支部として準備金等を積み立てることが承認されました。

総会後の研修会では、支部会員による活動報告、さら

には吉川理事からの大学および校友会の現状についての説明を受け、大変有意義なものとなりました。

懇親会では、校友同士の歓談があり、最後に、恒例となっている校歌と応援歌を全員で歌い上げ、盛況の中で終宴となりました。

栃木支部では、昨年、会員によるゴルフ大会や2年後の国体開催に向けて整備が進む新スタジアム見学会などを開催しました。引き続き、当支部では積極的に活動してまいりますので、栃木県内在住の方、栃木県に所縁のある方などの参加をお持ちしています。



茨城支部

支部長 増山 栄 建築学科 昭和47年卒業

茨城支部総会は、平成30年12月8日、水戸市内の三の丸ホテルで行いました。出席者は48名で大学からは吉川理事、校友会本部から釜井副会長、神奈川支部永井支部長、埼玉支部佐藤副支部長をお迎えして盛大に開催致しました。

今年度、茨城トヨペット（株）代表取締役社長の幡谷定俊様をお迎えして、経営者としての学びや社員についての考え方、そしてそれらを基に今後の人生をどう歩むかについての講演を賜り、有意義な話を頂きました。

懇親会では、はじめに吉川理事及び釜井校友会副会長から来賓の挨拶を賜りました。その後は、幅広い年代の先輩・後輩とのコミュニケーションが活発に行われ、昔の思い出や近況報告等の話に一花咲かせて、会は大いに盛り上がりました。

最後になりますが、今後の支部活動の活性化のため、会員の輪を広げていき、芝浦工業大学の発展に尽力し、これからの皆様のご指導ご鞭撻を頂きます様、何卒よろしくお願い申し上げます。



埼玉支部

支部長 吉池 富士夫 金属工学科 昭和51年卒業

私たち埼玉支部は、多くの在校生が通う大宮キャンパスがあるため、校友のみならず、在校生とも積極的に繋がりをもちながら、校友会活動を進めております。

昨年10月に開催された2018年度埼玉支部総会においては、大学、後援会、校友会本部並びに近隣都県支部から来賓のご臨席を賜り、大学の現状や校友会の報告等、有意義なお話をいただきました。

また、副支部長として永年、我々の心の灯台としてご指導いただいている富山光行さん（昭和45年土木工学科卒）が、この度ご勇退されることになりました。後任には、作山康さん（昭和58年建築工学科卒／芝浦工業

大学システム理工学部環境システム学科教授）が、副支部長に就任することが承認され、支部運営強化に向けた新たな体制となりました。

校友の交流の場として、2019年4月に「小川町散策と酒蔵巡り」と題して老若男女語らいつつ“まちあるき”を開催いたしました。

そして埼玉支部の支部総会・懇親会は、10月5日（土）大宮キャンパスにて開催する予定です。埼玉支部一同、埼玉に所縁のある校友の皆様の参加をお待ちしております。



千葉県支部

支部長 金井 昭三 機械工学第二学科 昭和41年卒業

千葉県支部は平成16年に「千葉支部」、「成田支部」と校友会未加盟の「芝浦会」の3つの団体を統合して設立した支部です。

現在会員数は180名です。今年15年目を迎える「新生・千葉県支部」はより一層の活動の活性化を目指して下記の4つの課題に取り組んでいます。

1. 平成30年度総会を母校・豊洲キャンパスで開催（H31.2.23）
2. 分会を2か所設立 「成田分会 30 / 9」、
「柏分会 30 / 11」

3. 会員の増員（校友会ホームページ活用による広報活動の強化）
4. 家族で参加できるイベントの開催（潮干狩り等）

今後、千葉県支部活動をホームページやフェイスブック等で情報発信しながら、千葉県内の校友の方々に広く周知し、特に平成年度卒業の若い方々の積極的な参加を期待しています。

「校友会だより」で千葉県支部活動をお知りになった方は、是非とも身近な校友にお声をかけて頂ければ幸いです。



東京総支部

支部長 谷川 潮 機械工学第二学科 昭和45年卒業

最多の卒業生を抱える東京には、以前4地域支部がありました。その活動には差があり確固たる支部がありませんでした。平成18年11月9日に4支部の上に全体を纏める東京総支部が創られ、現在に至り登録会員は197名です。

平成30年度東京総支部総会は平成30年11月16日に行われ、総会後の恒例の懇親会には五十嵐理事長はじ

め大学幹部職員、後援会幹部の皆様、校友会幹部の皆様、在学生諸君、都内在住者、在勤者、同好支部、職域支部役員、校友会常任幹事、及び一般会員のご参加を頂き盛大に開催されました。創立100周年に向けて、東京総支部の更なる会員拡大を図るよう役員を中心に活動しております。今後とも皆様のご参加とご協力の程宜しくお願いいたします。



多摩支部

支部長 中根 眞行 工業経営学科 昭和55年卒業

校友会会員の皆様、多摩地区に在住の卒業生の皆様、如何お過ごしでしょうか。

多摩支部は、昨年5月に10名の大学、校友会関係の来賓の皆様と、24名の支部会員の参加を頂き支部総会を開催致しました。

昨今、各支部とも総会参加者が年々減少若しくは高齢化していく中での対策として、若手会員や女性会員を増やしていくことの方策を講じております。多摩支部においても同様に、イベント開催数を増やすことで支部活動をより多くの皆さんにアピールして行くことの方針です。

具体的には、学生を交えての「バーベキュー大会」の

開催や、初めての試みとして校友会主催の「実学講座」に支部会員自身の社会での経験を卒業生や学生の前で披露して頂き、そういった集まりの中で新たに支部活動にご理解いただける方を見出すなど様々な努力をしております。

昨年は、残念ながら箱根駅伝予選会には不出場でしたが、今年も多摩支部お膝元立川でのイベントとして、会員の皆さんと盛大な応援を行うように計画しております。

今年度の支部総会は7月19日に田町校舎にて行います。是非こちらにも足を運んで下さるようお願い致します。支部役員一同心よりお待ち申し上げます。



神奈川支部

支部長 長井 義明 建築学科 昭和47年卒業

7年前から会員相互の親睦を図る為に「地引綱」を開催し、昨年は140名が参加しました。晴天に恵まれ、魚の種類は異なりますが多く取れました。役員一同の協力で盛り上がりました。今年も皆様の御参加をお待ちしております。

支部総会を「横浜ローズホテル」で、昨年9月1日（土）に開催しました。講演は、1月2日（火）に第94回箱根駅伝（1区）関東学生連合チームとして参加された、矢澤健太（現在神奈川県庁勤務）さんをお願いし、母校として初参加の箱根駅伝のエピソードを拝聴しました。参加者から、種々な質問が出され、非常に良い講演でした。支部員41名が参加しました。

大学、後援会、校友会本部並びに近隣都県支部から御臨席賜り、大学の現状や校友会の報告等、有意義なお話を戴きました。その後、懇親会では、毎回恒例になりました卒業生のギターリスト音一平さんに演奏して戴きました。校友同士の交流・充実した時間を共有出来ました。

昨年10月8日（月）午前と午後の2回江ノ島で神奈川支部主催のセーリングを開催しました。午前は、江ノ島から茅ヶ崎の烏帽子岩までと、午後は、江ノ島から葉山御用邸までヨットでセーリングを楽しみました。参加者は午前・午後で37名でした。今年も9・10月に開催する予定です。御参加をお待ちしています。



平成30年9月1日 ローズホテル横浜

長野支部

支部長 北村 武彦 建築学科 昭和45年卒業

●新たな分会が設立

昨年の平成30年6月30日に、長野支部の新たな分会として、上田会の設立総会が開催されました。長野支部として三つ目の分会の誕生です。三つの分会の設立は、十数年来の計画であり、それが完了したこととなります。

分会設置の詳細理由は省略致しますが、最も重要な理由として、広い県下に散らばる卒業生が集合し易くすることにより、会員のさらなる増加を図ることが目的です。会員の増加によりは、会員相互が認知しあい情報網が広がり、親睦が高まり、くわえて母校や校友会との連携がより深まることとなります。会員名簿に掲載されること

も大変意義がありますが、互いに顔を合わせることがもっとも重要です。

本年度の支部総会において、校友会の来賓から、長野支部及び分会総会への出席者合計数が、他支部と比し多いとお言葉を頂きました。目的の実効性が少しずつできてきているのかと思います。

当支部で当初分会を設置しようと動き始めたとき、そのような制度がなかったことから、校友会に大変なご心配をおかけしました。その後ご理解を賜り、現在に至ったことに深謝いたします。



上田会設立総会の集合写真

山梨支部

支部長 渡辺 一郎 建築工学科 昭和46年卒業

平成 28 年度に前任の竹村氏より支部長を引き継ぎました、渡辺と申します。

山梨支部は平成 8 年に設立され、今年 23 年目を迎えました。毎年の支部総会も多数の参加者とは言えませんが、大学および校友会本部よりご来賓の出席を賜り、アットホームな雰囲気の中開催しております。

長年継続している総会は、これまで男性ばかりの参加者

でしたが、近年、1 名ではありますが女性の参加を頂きました。これを期に支部としても、若い世代や女性をはじめ、誰もが参加しやすい交流の場となるよう盛り上げていきたいと考えております。

お手元に案内が届きました際には、是非ひとりでも多くのご参加をお待ちしております。



石川支部

支部長 西 正次 土木工学科 昭和49年卒業

平成 30 年度の総会は、例年より約 1 か月遅れての 7 月 6 日（金）に、校友会鈴見健夫会長をゲストにお迎えして開催いたしました。冒頭、長年にわたり会長として石川支部をリードしていただき、一昨年の暮れに逝去された二又英信さんへ、参加者 30 名全員で黙祷を捧げました。

昨年度の主な事業活動としては、夏場を中心に県内各地の進学校 13 校（過去の進学実績を考慮）へ各校 OB を伴っての挨拶回りを実施しました。各校の進学状況と

傾向を伺いながら、本学の近況報告をさせていただく形での懇談となりました。北陸新幹線金沢開業から約 4 年、関東圏からの観光客数も以前の倍を超えて推移しています。しかしながら、近年の北陸の大学受験生の傾向としては、国公立志向が高く、私立理工系には大変厳しい環境であると感じているところであります。

新年度に向けては、昨年実施できなかった親睦ゴルフ大会を是非開催したいと思っております。



福井支部

支部長 永井 弘明 建築学科 昭和53年卒業

平成30年度の総会にて、前任の西浦正三様の後継支部長に選出されました。設立から49年の歴史のある支部であり身の引き締まる思いです。

本会は7月末に総会懇親会、2月には新年会を開催しています。また9～10月には県内各地の高校へ出向き、芝浦工業大学の魅力を発信、受験者拡大の活動を続けています。前任の西浦支部長がなさっていた会員訪問活動も継承していきたいと考えています。その結果はHPの

支部紹介で掲載する予定です。

昨年10月6日には富山支部設立40周年に招かれ、校友会、富山支部、近隣の支部長の皆さんと交流することが出来ました。可能であれば、近隣の支部との交流も広げていきたいと考えます。また、福井県内の大学OB会交流にも可能な限り参加したいと思います。

設立50周年をどのように迎えるか検討して参ります。



岐阜支部

支部長 平井 良樹 工業経営学科 昭和57年卒業

岐阜支部では、支部総会を毎年7月第3週土曜日に開催することにしてあります。活動内容は充実しているとはまだまだ言えませんが、現役多治見市長の古川氏をはじめ参加者は毎年少しずつ増えてきています。

毎年支部総会は岐阜市で開催しているのですが、今後は高山市などでも支部総会を開き、さらに参加しやすい環境を整えていきたいと考えております。

信頼し合える仲間が集い、情報交換をし、友情を深めることにより、さらに有意義で充実した支部にしていきたいと考えておりますので、岐阜支部総会案内が届きましたら是非ご出席で返信していただき、一人でも多くの参加をお待ちしております！



静岡県同窓会支部

支部長 鈴木 和幸 土木工学科 昭和50年卒業

平成30年度の第41回支部総会を7月7日に開催し、来賓7名と30名弱の会員が集まりました。

I部の支部総会議事は滞りなく進み、恒例の講演会は、郷社八幡神社禰宜勝又清晶様による「伊勢神宮にまつわる諸々の話」と題しまして、普段知ることができない興味深い講演を戴きました。II部の懇親会は、愛知、岐阜、神奈川の各支部来賓から挨拶を頂き、例年にも増してビンゴで盛り上がりました。

平成30年9月22・23日には静岡市高に於いて、「少年少女ロボットセミナー in 静岡」が盛大開催されました。

この時の様子は新聞各紙に写真入りで掲載され、芝浦工業大学の名を静岡地区に更に広めたことと思われます。

この記事をご覧の静岡県関係者の方で、当支部の活動に興味を持たれる方は是非ご連絡をお待ちしています。

現在、支部のホームページの改訂を行っています。「校友会だより」が発行される頃には本部HPの「支部紹介」に新しいアドレスを掲載しますので、一度覗きにきて下さい。



愛知支部

支部長 榊原 周造 建築工学科 昭和45年卒業

愛知支部は、校友会本部、後援会東海支部と連携し活動を行っています。

平成31年度の活動予定を紹介させていただきます。

- 5月下旬 芝浦工大 愛知だより発行
- 5月11日(土) 第50回ゴルフコンペ
名古屋広幡ゴルフコース
- 6月8日(土) 校友会全国総会出席予定
品川プリンスホテル
- 7月13日(土) 第43回愛知支部総会予定
キャスルプラザ
- 7月27日(土) 少年少女ロボットセミナー in名古屋
- 7月28日(日) 毎年後援会東海支部の方々と協力して進めています。
- 9月中～下旬 父母懇談会東海支部総会 出席予定
- 10月中旬 第51回ゴルフコンペ 予定
- 1月中旬 校友会賀詞交歓会 出席予定
- 2月1日(土) 後援会東海支部との合同新年会 予定

今年度新会員になられた方、転勤等で県内に在住の方は是非声を掛けて下さい。

E-mail: info@garden-g.com 榊原までよろしく願い致します。



関西支部

支部長 松岡 英治 建築学科 昭和54年卒業

平成30年度の関西支部総会は11月16日に「個室 & パーティ会場 Morishita」にて開催しました。

来賓として校友会からは鈴見会長を迎え、関西支部会員32名の総勢33名での支部総会となりました。今回から昭和36年土木卒の森政克元さんが新しく参加され、大宮校舎の建設に土木で参加された話が大変興味深く印象にのこりました。

懇親会は昨年に引き続き今年も、若手会員の企画による「全員参加の楽しい支部総会」をテーマに実施し、全

員参加のクイズやゲームを行うなど、昨年以上に盛り上がった総会となりました。総会の最後には校歌斉唱・エール・集合写真撮影を行い閉会としました。

なお、支部総会翌日は恒例の親睦ゴルフコンペがあり鈴見会長を含め15名参加にて、和気あいあいの中で開催する事が出来ました。

関西地区在住の卒業生の方々には、支部総会・親睦コンペに是非参加して頂ける様、心よりお待ちしております。今年は11月15日 金曜日に開催予定です。



鳥取支部

支部長 富本 哲郎 電気工学科 昭和40年卒業

鳥取支部は、創設14年になります。会員数48名の小規模支部です。

鳥取支部創設10周年記念事業として芝浦工業大学との共催で開催した「少年少女ロボットセミナー」は、H27年西部(米子市)→H28年東部(鳥取市)→H29年中部(倉吉市)→H30年西部(境港市)で開催し、県内開催2巡目に入りました。

開催には、県産業振興機構の協力及び県教育委員会の後援、各市教育委員の会協力、各地区の企業にご協賛いただき、各地区の工業学科生徒さんにセミナー指導アシスタントをお願いしています。

本事業への支部の取組は、会場の準備、後援団体・協賛企業の募集、指導アシスタントの高校生の募集・指導アシスタントの事前研修の実施、報道機関への要請などを行っています。セミナー当日は、会場準備・受付・写真撮影・取組表記録・来賓対応など、開催地域の分会を中心に8人～10人程度の支部会員が支援のため参加しています。

この取組が県内に、芝浦工業大学を知り理解を深める機会となつてほしいと願っています。



広島支部

支部長 川本 勝一 建築学科 昭和45年卒業

広島支部は昭和57年に発足し、今年度で38年目を迎えますが、昨年度の主な事業活動内容を紹介させていただきます。

まず、第37回定期総会・懇親会は会員50名の参加で盛会裡に終わると共に備後分会にも会員12名が参加しました。

イベントはゴルフ2回、釣り2回、囲碁5回を行い、会が目的とする「会員相互の親睦」を計る事が出来ました。今年は新たに「山歩き・ハイキング」を立ち上げます。また後援会主催の父母懇談会には若手卒業生5名

が参加し、父母との懇親の輪に入りました。それと本学主催の2日間に亘る少年・少女ロボットセミナーでは50名の小学生に対して、会員5名がサポートさせていただきました。

これらの活動状況の報告、懸案事項の検討・決定等は年5回の役員会にて行いますが、今年度の新執行部には川本支部長を始めとして多くの若手役員が選出されました。新執行部は「新たな価値を創造し、存在感のある支部創り」をテーマとして、活動基盤の更なる強化を目指します。



山口支部

支部長 福田 隆行 土木工学科 昭和50年卒業

山口支部は平成5年7月10日に発足し、今年で26年目になります。会員数は現在80名です。

主な活動状況としては、会員相互の親睦を図るため、毎年総会を開催し、これに併せて親睦ゴルフと懇親会をおこなっています。

総会については、県中央の山口市にて、開催日は11月上旬の土曜日とほぼ固定化しております。参加者は支部の会員と本部と大学からの来賓2名を含め、おおむね20名程度です。

懇親会では、親睦ゴルフの表彰式、会員全員による近況報告また学生時代の思い出話等に花を咲かせ、締めは恒例の校歌の大合唱と元空手部会員のエールで大いに盛り上がり、会員相互の親睦を深めています。

山口県に関わりのある方の気楽な参加をお待ちしています。みんなで大いに飲み、語り、大声で校歌を大合唱しましょう。



徳島支部

支部長 佐藤 幸好 建築工学科 昭和50年卒業

校友会の皆様、前任の宮本博先輩の後任として支部長に就任いたしました佐藤でございます。微力ではございますが、支部校友会の活性化に努力したいと考えていますので、ご支援と共にご指導をお願い申し上げます。

今年度の徳島支部総会は、昨年6月16日に開催しました。大学、校友会本部、四国の他支部、後援会四国支部、各役員の方々を来賓としてお招きし、支部会員20名が出席して開催することができました。

また、年明けの26日に支部新年会と役員会を開催、

14名が参加して総会日程の協議と共に、私が出席した校友会本部主催の新年賀詞交歓会の報告をさせていただきました。

なお協議の結果、平成31年度の支部総会は、例年6月に開催していましたが、各団体の総会や事業と重なり出席できない会員がいたので、今年は7月20日の開催に決定いたしました。詳細は後日ご案内しますが、支部会員の皆様には多数ご出席いただきますようお願い申し上げます。



高知支部

支部長 吉本 哲生 土木工学科 昭和50年卒業

全国校友会の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

高知支部は、平成30年度総会、忘年会と恒例の行事を行いました。特に総会には、学校、校友会関係者及び四国各支部からもご出席いただき、毎年会合を盛り上げていただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。

支部活動活性化を目指しておりますが、会員の高齢化が進行し、若い卒業生の参加が非常に少なく、会の存続

にも黄信号が点滅しています。その様な状況ではありますが、何とか活動を繋げていこうと努力しています。

地方創生が謳われており、将来、卒業生が地元に戻って活躍したいと思う様な時代が来るかもしれません。我々も校友会活動を通じて情報交換を行い、友好を深めながら卒業生への支援ができる様に個々の力を蓄える必要があると思います。

全国の校友会の活性化を祈りつつ、活動報告とさせていただきます。



大分支部

支部長 河野 元勝 土木工学科 昭和45年卒業

大分支部では平成30年度の支部総会を平成30年10月13日(土)に、校友会本部より加藤善次郎副会長のご出席をいただき、大分市内のホテルで開催しました。

今回は三浦昌生名誉教授が勇退され、家業を継ぐために地元大分に帰られたので、ご講演をお願いしました。タイトルは「優秀な芝浦の学生と過ごした27年」です。

三浦先生は平成3年から平成30年までの27年間、システム工学部に在籍し、その間、平成11年から6年間システム理工学部長などの要職を務められました。教

授としての講義への取り組みについて、学生に対して如何にしていい授業を作ることができるかという基本姿勢が随所にうかがえました。例えば、研究室に大型の円卓を設置して、様々な価値観を持った学生たちが自己を律しながら、対等に話し合う場として大いに活用されたそうです。約30分間のご講話をしていただきまして、会員相互が久しぶりに交流し、総会は大いに盛り上がりました。



福岡支部

支部長 角 敬之 工業化学科 昭和45年卒業

平成30年度の福岡支部活動を振り返ると、台風により振り回された1年間でした。まず、支部総会(7月7日)は、西日本豪雨(福岡市早良区脇山:859mmの雨量を観測)の影響もあり、当日の朝中止を決定。大学本部から、五十嵐理事長と野口事務局長に出席頂く予定でした。事務局長には前日からの来福頂いており、ご迷惑をおかけいたしました。

少年少女ロボットセミナー(7月15~16日)も、西日本豪雨の影響で大学からの資機材の搬入が出来ずに

延期となりました。また、10月6~7日での再実施予定も台風25号と秋雨前線の影響で、5日から降り出した雨が6日の明け方から強くなり一部暴風域に入る等の有様のため、参加者の安全を考慮して、初日を中止とし、1日だけのセミナーとなりました。

このように、雨に泣かされた1年間でしたが、恒例となった湯布院ゴルフ懇親会には、佐賀、大分、熊本、宮崎支部からも参加を得て、和やかに実施することが出来ました。



熊本支部

支部長 永田 昂生 土木工学科 昭和42年卒業

昨年6月9日に開催されました“校友会全国総会”では、校友会の皆様の温かいご支援のおかげで、無事に実行委員長を務めることが出来ました。ここに改めまして、全国の皆様にお礼と感謝を申し上げます。

熊本支部におきましては、平成30年9月12日（水）に熊本ホテルキャッスルにおいて熊本支部定時総会・懇親会を開催いたしました。大学から守田優副学長・校友会から釜井重一副会長をお招きし、福岡・宮崎・鹿児島

の支部から出席を頂き、20名を超える参加者で盛大に開催することが出来ました。

今回は基調講演を行いませんでしたが、母校の宣伝を兼ねて熊本の地方紙である「熊本日日新聞」に定時総会案内の広告を大きく掲載しました。

毎年行われている「東都リーグ大同窓会」も令和元年5月25日の開催で23回を迎え、多数参加し親睦を深める予定です。



平成30年度熊本支部総会集合写真

佐賀支部

支部長 山田 清人 通信工学科 昭和48年卒業

佐賀支部は平成30年10月27日、数年ぶりに武雄市の「野田屋」で総会を行いました。この会場は大学のOBである野田先輩が経営され、由緒ある割烹で部屋の雰囲気、料理、お酒と最高のもてなしでした。

来賓として辻村監査役、角福岡支部長を迎え、20人の参加を得て総会を行うことができました。

支部の活動は総会の他に年に3、4回幹事会を開き近

況報告、情報の共有に努めています。総会への参加者がほぼ同じ顔ぶれになりつつあり、若い人の参加が課題になっています。若い年代が気軽に集まり、情報交換ができる環境づくりを進めて行き、校友会活動が進むよう図って行きたいと思います。



鹿児島支部

支部長 小菌 定夫 建築工学科 昭和48年卒業

校友会鹿児島支部の愛称『芝鹿（しろく）会』の平成30年度総会は、去る7月6日（金）にホテルパレスイン鹿児島に於いて、会員出席数18名で行いました。

また、大学から満重学事部長、校友会の林田副会長、熊本支部から豊岡副長の3名に御臨席を賜り、懇親会に華を添えて頂きました。

現在の芝鹿会の登録者数は46名ですが、総会への会員出席者数は、今回その半数に至りませんでした。残念ながら、年を経る毎に総会への参加メンバーが特定化し

つつあり、且つ会自体もマンネリ化してきております。

「群れることを避ける風潮」のある昨今ですが、『人は石垣・人は城』の最たる例が校友会でもあります。

新たな会員の参加を促すと共に、今後の芝鹿会のあり方などや、新鮮な息吹が生まれるような手法について、現在腐心しているところです。

今後も、校友会本部の総会や他支部との交流の機会を活用するなどして各支部等の運営状況も参考に、新たな参加者の発掘に資する手法が学べたらと考えています。



上海支部

支部長 芝田 明久 建設工学専攻 平成4年修了

昨年度に引き続き、支部長継続となりました芝田です。

上海支部は2016年1月の設立から、丸3年が経過しました。上海～蘇州を中心とした、中国華東地区のOB／OGで活動しており、卒業学科も年齢も、幅広いメンバーが集まっています。

海外支部の性質上、駐在員の方が多いため入れ替わりが激しいことが上海支部の特徴です。昨年度は設立当時から中心メンバー4名が同時帰任となり「存続の危

機か!？」とも思われましたが、5名の新メンバーを迎えることができ、活発な活動を継続することができました。

昨年度は定例の懇親会の他に、2度のゴルフコンペも開催しました。また中国二大演劇に数えられる「越劇」の観劇会も催すなど、活動内容も多岐に渡っています。ご夫婦ともに芝浦のOB／OGでお子様も帯同の方が加入されたこともあり、本年度はBBQなど、新たな試みで親睦を深めていきたいと思ひます。



シンガポール支部

支部長 長尾 剛 建築工学科 昭和61年卒業

シンガポール支部は、2013年12月に設立され、今年で丸5年を迎えました。

海外ということもあり、会員の方々の異動は多いですが、2018年末現在24名の方が、シンガポール支部の会員となっています。2018年11月から、地元の日本人向けフリーペーパーに、芝浦工業大学および付属高校・中学の卒業生の方へ、校友会活動の記事を載せたところ、大学の卒業生だけでなく、柏高校出身者や、インターシップでシンガポールへ来ている現役の学生からも校友会活動への参加申し込みがありました。

昨年度の総会には、鈴見会長、依田事務局長が参加されました。総会の他に、ボーリング大会やインターンシッ

プで来ていた留学生を囲んでの夕食会を開催し、会員間の交流を深めてきました。設立から5年が過ぎましたので、会員同士も気軽に話ができるようになっていきますし、新しく会員になられた方も、同じ芝浦の卒業ということだけで、卒業年や学部など関係なく、すぐに打ち解けていただけるような雰囲気となっています。

シンガポールは、東南アジア近隣諸国の基点となっています。芝浦工業大学および付属高校・中学の卒業生も、いろいろな形でシンガポールと関わりを持っている方がいらっしゃると思います。引き続き、広告掲載などを通じて、会員を増やすと共に、さまざまな活動を通じて会員間の親睦を深めていければと考えています。



<2019年1月25日（金）シンガポール日本人会『茜』にて行った総会後の写真。>

機械工学科同窓会支部

支部長 高木 光一 機械工学科 昭和48年卒業

本支部は、校友会唯一の学科同窓会支部として2012年に設立されました。

機械工学科同窓会としての活動は、昭和47年頃から定期総会を開催するなど、活動を進めてきました。昭和50年代からは、会員相互の親睦を図るとともに、芝浦工業大学機械工学科のよき伝統を伝承し、社会に貢献することを目的に、同窓会会報の発行、同窓会総会、幹事会、講演会、親睦会、懇親会などの事業を行っています。

個人情報保護の観点から、会員名簿の発行を中止して

いますが、毎年1回会報を送るために会員名簿のメンテナンスは継続しています。今年は第36号を発行します。

大学および在校生との接点も大切にしており、新入生オリエンテーションへの協賛や、卒業生への卒業記念品贈呈をしています。平成24年からは、3年生後期・機械ゼミナール1でPBL（問題解決型学習）の授業にコーチ役として参加しています。



英交会支部

支部長 浅野 昌宏 電子工学科 昭和44年卒業

◆学生との交流（田町キャンパス）◆

英語部学生との交流を重視しており、社会人先輩である英交会員から学生へ各々の社会活動状況を伝え、支援を行っています。2018年6月16日、栗田直樹会員（'71年建築学科卒、建装工業取締役）により、「ESS入部で得た沢山の宝物」や「社会人になって貴重な経験を通して学んだこと」を学生と会員に対して講演頂きました。講演後の校友倶楽部での懇親会では、楽しく真剣に語り合いました。

◆遠隔地の会員との交流（福井）◆

2018年9月2日～3日、英交会員が活躍する地域訪問として福井への役員親睦旅行を実施しました。この目的は、遠隔地在住で中々会う機会が少ない会員との交流が図れる場の創出であり、年1回実施しています。現地では下記の福井在住会員に大変お世話になりました。



英語部学生との交流

永井弘明殿（'78年建築学科卒、永井建築設計事務所所長）

◆2018年度の主な活動歴◆

- 6月 英語部学生との交流会（田町キャンパス）
- 6月 校友会全国総会参加
- 9月 親睦旅行（福井）
- 11月 第53期英交会支部総会（田町キャンパス）
- 12月 忘年会（田町）
- 1月 校友会賀詞交歓会参加
- 2月 英語部4年生追い出しコンパ参加（渋谷）
- その他 6回に亘る役員会



親睦旅行（福井）

黒潮会支部

支部長 岡野 浩一 建築学科 昭和58年卒業

空手道部OB会黒潮会は平成13年12月に校友会支部臨時総会を開催し平成14年度黒潮会支部としてスタートし今年で18年目を迎えます。

昨年12月1日に総務部長の山下智子様、校友会副会長の加藤善次郎様にご臨席のもと総会を開催いたしました。議案も滞りなく承認され報告の中で濱野先輩が新顧問として就任されました。



総会終了後、芝浦キャンパス7階校友倶楽部にて新役員発表会並びに卒業生送別会を開催しました。OB諸先輩、部員21名、留学生3名とともに懇親を図りました。

黒潮会支部として相互交流を図り一人でも多くのOBが集まる支部になるよう努力します。今後、尚一層の活動の場を広げ、校友会支部として校友会並びに母校の発展に寄与していきたいと望む次第です。



二部ワンダーフォーゲル部OB会

支部長 伊藤 孝夫 二部機械工学科 昭和51年卒業

二部ワンダーフォーゲル部OB会支部は、昭和36年に第1期生が卒業してから、58年が経ちます。会員数は約120名で全国各地に居ります。

昨年の6月に定期総会を行い、決算報告やその年の予算計画、活動計画などを話し合いました。会員への連絡にはメーリングリストや往復葉書などを使っています

活動計画では、月に1度定例会を開催し、情報交換する事としています。なかなか人数が集まりませんが、

昨年9月と12月には定例会、忘年会を開催しました。今後もバーベキューなど手軽に参加できる催し物や、宿泊施設を利用して合宿を行っていきたいと考えています。

芝浦工業大学の二部が廃止されて久しいですが、二部ワンダーフォーゲル部OB会は、これからも活動を続けていきます。



錬心会支部

支部長 飯島 敏春 機械工学科 昭和54年卒業

今年は、錬心会支部としてご承認頂いてから10年目を迎えます。又、同時に剣道部創部60周年を迎える年でもあります。創部60周年記念式典を、11月23日 豊洲校舎にて開催致します。

この伝統ある剣道部を今後も継続して行くためにも、会員間の親睦は元より大学剣道部員並びに両付属中学・高校剣道部員への指導・支援を行っていく所存で御座います。今後も若手会員の積極的な支部活動への参加と全国総会準備委員会への参加協力を行い、大学並びに校友

会の発展に努めて行きたく考えております。

支部長 飯島 敏春 (S54年機械工学科卒)
副支部長 筋野 豊司 (S55年機械工学第二学科卒)
副支部長 福本 宏昭 (S56年機械工学科卒)
幹事長 鶴 崇 (S46年建築学科卒)
会計監査 大久保勝示 (S47年建築学科卒)
事務局長 島田 恭史 (S59年機械工学科卒)



芝浦技術士会支部

支部長 鯨井 武 通信工学科 昭和54年卒業

芝浦技術士会は、会員数 256 名を擁し、公益社団法人日本技術士会と連携する大学毎にある技術士会組織です。

私たちの現在の主な活動は、生涯学習講座として開講している「技術士試験対策講座」と、技術士の継続研鑽に繋がる CPD（継続研鑽）講座の開催です。

芝浦技術士会は、講座を通じて受験者を支援すると同時に、講師と受講生のコミュニケーションを通じて生涯

現役技術者へ向けたエンジニアの価値を共に考えながら学んでおります。CPD 講座では、学内の先生方、並びに学外の技術士や専門家による先端技術、研究の御講演を頂き、知識の拡充に努めております。

昨年度から（株）エスアイテックと連携し、地域企業、校友会会員企業様への支援活動も行える体制、環境の整備を進めており、校友会へ開かれた支部を目指しております。



硬式野球部OB会支部

支部長 前野 和博 工業経営学科 昭和46年卒業

平成 30 年硬式野球部 OB 会支部総会は、11 月 17 日（土）に田町キャンパス教室にて、19 名の OB 会会員の出席のもと開催致しました。

来賓として大学から早乙女常務理事、校友会からは依田事務局長のご出席を頂き、総会終了後には校友会倶楽部において懇親会を開きました。今年は、硬式野球部 OB 会発足 24 年。校友会支部となって 6 年目となります。OB 会幹事としては、総会への出席者を一人でも多く集め、その輪を広げて行くのが使命と考えております。女性の OB（元マネージャー）も何人かおります。この若い OB 会員の皆さんに参加頂けるのが大きなポイントです。その実現の為に、話題性も含めて現役硬式野球部

が強くなる事が最低限の条件ではないかと思えます。

大宮キャンパス野球グラウンドは、人工芝総合グラウンドに生まれ変わり 3 年目を迎えました。その効果もあり新入生部員が例年 20 名前後入部します。中には高校時代にレギュラーとして大いに活躍した選手もおります。この様に、練習環境により入部を決める現代っ子気質を改めて感じながら、今年も多くの一学年が入部してくれる事を望み、硬式野球部の更なる活躍に期待します。

決意として、本年末に開催される硬式野球部 OB 会支部総会が盛大に盛り上がりながら開催される事を祈念致したいと思います。



ハンドボール部OB会支部

支部長 井出 恵尉 工業経営学科 昭和47年卒業

2014年6月に発足し、現在の会員数は145名です。毎年10月の下旬にOB総会を開き親睦を深めています。2018年度は、10月20日（土）に芝浦校舎の校友倶楽部にて開催し、OB参加者27名に現役部員31名も参加して和やかな雰囲気で行われました。

今年度の総会では、前支部長の塩川安賢さんが、校友会功労者の表彰を受けたことや、日刊スポーツ新聞の東京オリンピック特集で前回の東京オリンピックのエピソードとして、田口さんのインタビューと共に芝浦工大ハンドボール部が紹介されたことが報告されました。

その他、現役の試合の応援や合宿での指導・助言、及び合宿費の援助など、現役部員が有意義な部活動がおくれるように支援をしています。

支部長	井出 恵尉	(S40年卒)
副支部長	大村 俊樹	(S56年卒)
幹事(監督)	池田 鉄哉	(S40年卒)
会計	大岡 忠仁	(S59年卒)
	川合 誠	(S60年卒)
会計監査	大森 雅樹	(S59年卒)
	河村 登	(S60年卒)
事務局	柴田 富男	(H2年卒)
	本多 行雄	(H2年卒)
	平岡理彩子	(H30年卒)
	寺下 沙恵	(H30年卒)



ソフトテニス部OB会支部

支部長 早川 昇 建築学科 昭和43年卒業

私共、ソフトテニス部OB会支部は、平成26年6月に発足致しました。母体のOB会は創立53年を迎え会員数231名となり、年齢層は20歳台から80歳台と多岐にわたります。

会員からは全日本選手権優勝、準優勝者を輩出しております。

私共支部が設立の主旨としたのが、校友会の発展に寄与すると共にOB会時代より続く、現役学生諸君への助言及び援助であります。これは50余年間微力ながら継続して参りました。内容は監督やコーチの派遣と、その

経費の一部補助、ユニフォーム寄贈、遠征費の補助等があります。

例年総会はテニスを楽しむ事が含まれ、共にOB選手権も開催しており、昨年は学生部員との交流を目指し、会員にも懐かしい大宮キャンパスで開催が出来ました。

ご協力を頂いた大学、校友会関係者の方々に厚くお礼申し上げる次第であります。

今後も、学生諸君への援助も含め校友会発展に、どのように寄与できるかを模索していく所存でございます。



スキー部OB会支部

支部長 樋口 智美 建築学科 昭和38年卒業

校友会スキー部OB会支部としては未だ4年ですが、スキー部OB会は、昨年創部以来60年を迎えましたので、定期総会と合わせて60周年記念祝賀会を開催いたしました。

OB出席者は北海道で開催したこともあり、28名と出席者としては物足りない感じでしたが、理事長 五十嵐久也様、校友会会長 鈴見建夫様、芝浦工業大学常務理事 野口一也様のご出席を頂き、おかげ様で充実した祝賀会を開催する事が出来ました。

また、この度バンド演奏を入れ、各種演奏の他に特にお願いした曲が、当時スキー部の監督をしておりました

伊黒正次様（日本スキージャンプの草分けの人）が作詞した、芝浦工大スキー部歌、芝工大スキー部マネージャーの歌を出席者全員で当時を思い出して合唱しました。

スキー部として歴史に残る偉業はなんと言っても1969年全日本学生スキー選手権大会の学校対抗で1部総合優勝が思い出されました。

最後は、総合優勝時のキャプテン遠藤君の音頭と演奏で校歌斉唱、多彩で大変良い祝賀会ができ、校友会スキー部OB会支部はこれからも継続していけると確信した次第です。



<芝浦工業大学校友会 スキー部OB会支部総会スキー部創立60周年記念 平成30年7月14日 於 札幌第一ホテル>

熱流体研究会支部

支部長 富山 博明 機械工学科 昭和57年卒業

熱流体力学研究室支部は機械工学科熱流体力学研究室の卒業生で構成しており、2017年に設立され今年で3年目を迎える若い支部です。

熱流体研究室は、流体力学研究室として昭和45年から岡本史紀先生の指導のもと設立されました。岡本研究室の卒業生でもある角田先生のエネルギー変換工学研究室へ引き継がれ、48年の歴史のある熱流体研究会支部です。そのため岡本研究室、角田研究室の卒業生は600名を超える規模となっており、今後も角田研究室

の現役学生及び若き卒業生を支援し大学と校友会の発展、人材育成への貢献を目指した活動を行っていきたいと思っております。

熱流体研究室支部は、支部設立以前から、企業協賛の熱流体フォーラムを開催しておりました。昨年の平成30年度支部総会でも、支部総会後に熱流体フォーラム、角田研究室設立25周年記念講演、懇親会と学術色豊かな総会を盛大に行い、支部会員と協賛企業との交流、親睦を深めることができました。



川崎市役所支部

支部長 長谷川 智巳 電気工学科 昭和59年卒業

川崎市役所支部は、役所内の芝浦工業大学卒業生で構成される校友会職域支部です。現在約30名の会員で活動しております。

昨年8月には支部総会を開催し、芝浦工業大学からは山田理事、校友会から加藤副会長、また神奈川県支部より長井支部長にご出席いただき、盛会に開催することができました。

近年、新会員の入会も多くなり、20代～30代が中心となり、職場を超えて活気のある懇談会を行っております。お互いの交流を踏まえて、普段、仕事では直接話し

にくい先輩職員との会話を含め、仕事へのアドバイスや、学生時代の部活・サークル活動にと話が盛り上がりしております。

新会員の勧誘を目的に始めた新年会では、お互いの近況や情報交換などを行い、支部内の結束を強めており、今後も更なる会員の交流と親睦を図っていきたく考えております。

最後に、芝浦工業大学の益々のご発展と、校友会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



三芝会支部

支部長 岩本 毅 建築工学科 昭和63年卒業

三芝会は三井住友建設の芝浦工業大学卒業生で構成される、校友会職域支部です。現在66名で活動しております。

2019年3月15日（金）に芝浦工業大学校友会倶楽部にて、支部総会を開催いたしました。芝浦工業大学からは五十嵐久也理事長、野口一也常務理事、秘書室堀口裕司様に、ご出席いただきました。

当三芝会からは正会員が12名、賛助会員が5名参加し、支部総会、懇親会を開催いたしました。懇親会では各自の近況を報告していただき盛会のうちに終了することが

できました。ご参加いただいた来賓の方、賛助会員の方、正会員の方に感謝いたします。

建設会社の特性上、会員が全国各地に配属され多くの人が作業所で管理にあたっているため、全員が集まる機会がありません。そうしたことから、支部総会の出席者の確保においても難しい面がありますが、このような状況を理解してくださる支援者の方に助けられながら会を継続しております。

今後も、継続して三芝会を発展し続けることができるよう活動を続ける所存です。よろしく願いいたします。



鹿芝会支部

支部長 増田 孝弘 建築工学科 昭和63年卒業

鹿芝会支部は鹿島建設及びグループ会社の芝浦工業大学卒業生で構成する校友会職域支部です。会員数は2019年4月現在で約130名となっており、役員クラスから新入社員まで幅広い年齢層で活動をしています。2013年より支部長の増田支部長（昭和63年 建築工学科卒）が主となり支部活動の更なる活性化を図っています。

主な活動内容は、各種芝浦工業大学校友会活動への参加、年に1度の総会、年に2回の定例会、学生へのリ

クルート支援が大きな行事となっています。例年5名前後の新入社員を新規会員に迎え入れており、年々若さが活気付いて来ています。また、本年度より初の試みとして、総会時の時期を夏から春にずらし、新入社員歓迎も兼ねることで総会への出席しやすさを図り、鹿芝会をさらに盛り上げて行けたらと思っています。

最後に、芝浦工業大学のますますのご発展と、校友会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



鹿芝会総会 芝浦キャンパス校友倶楽部にて

住芝会支部

支部長 鈴木 一巳 電気工学科 平成元年卒業

住芝会は平成14年1月に発足し、今年で18年目となる職域支部です。住芝会の活動としては毎年一度、定期支部総会及び懇親会を行なっております。

昨年は9月5日（水）に定期支部総会及び懇親会を無事開催することができました。学校側から山田理事・本間先生、校友会から林田副会長・野末様にご出席いただき、大学の現状や校友会活動の報告等のもも有意義なお話を聞かせていただきました。

住芝会は、今年度も新卒の新会員を迎えることができ、また若い力と共に活動を盛り立てて行きたいと思っておりますので、引き続きよろしくお祈り致します。

懇親会の最後には、頂戴した支部旗をバックに全員で

校歌を斉唱し、盛会裡に会を閉じることができました。今年も9月に支部総会及び懇親会の開催を予定しており、更なる会員相互の交流と親睦を図ってまいります。

会員は現場従事者が多く、一堂に会することが少ないため、支部総会はとても貴重な場でもあります。住芝会は決して大きな組織ではありませんが、今後も積極的且つ継続的に校友会活動に参加してまいり所存ですので、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い致します。

最後になりましたが、母校芝浦工業大学の益々のご発展と、校友会皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



竹中芝浦会支部

支部長 安岡 千尋 建築工学科 昭和57年卒業

竹中芝浦会支部は、(株)竹中工務店と傍系会社の芝浦工大卒業生、退社のOB・OGで構成する支部です。人数は現役約150名、OB・OG約110名です。

竹中工務店の歴史は古く、創業は織田信長まで遡ることになります。今年は会社組織創立120年にあたり、一堂に集まり記念式典が挙行政され、久しぶりの再会ありと記憶に残る出来事がありました。

支部の歴史はまだ浅く、発足から僅か15年です。発足当時を知る一人として、当時の情熱や大変さを想い、

更なる発展や活発化を如何にして図っていくかが、私達に課せられた命題だと考えています。

毎年秋に校友倶楽部で支部総会が開催され、東京配属の新会員の方々が参加します。近年は女性が増えたことが特徴です。また会員にはシステム理工学部石川裕次先生もいらっしゃいます。実現に欠かせない研究成果は数多く、研究へ取り組む姿勢、社会へ活かそうとする情熱、さらに人柄まで、とても素晴らしい方で支部の誇りです。



フジタ芝浦会支部

支部長 森田 真治 電気工学科 昭和58年卒業

昨年度よりフジタ芝浦会支部の支部長を務めさせて頂いております。昭和58年電気工学科卒業の森田 真治と申します。よろしくお願い致します。

フジタ芝浦会では毎年、新入社員が集合研修を行う4月初旬に支部総会を兼ねた新入社員歓迎会を開催しています。

今年も2019年4月5日(金)新宿にある「グレースバリ新宿本店」にて2019年度フジタ芝浦会支部総会・

新入社員歓迎会を開催いたしました。

首都圏に在籍する19名の会員とともに、今年は5名の新入社員を迎え入れての開催です。

その新入社員を含めると現在(株)フジタに在籍する支部会員数は全国で95名となります。この総会・歓迎会は、毎年各委員からの近況報告、新入社員へのアドバイスや情報交換など活気溢れる活動の場となっておりますので今後も引き続き継続していく所存で御座います。



前田芝浦会支部

支部長 黒岩 貴志 土木工学科 昭和60年卒業

前田芝浦会は、前田建設工業株式会社・同関連会社に所属する芝浦卒業生で構成する職域支部です。会員数は79名（4月現在）で顧問クラスから新入社員まで幅広い年齢層で構成されています。

当会は昨年12月に支部登録の承認を受けて誕生したばかりですので、2019年度が支部としてのスタートになります。これまで建築・土木のそれぞれでOB・OG会を開催する程度でしたが、この度の前田芝浦会支部設立により、ようやく職種を超えた交流の場ができたこと

になります。支部設立に際して、ご助言いただきました諸先輩におかれましては、この場を借りて御礼申し上げます。

現在、当支部の活動第1弾として、6月14日（金）に第1回支部総会および親睦会を芝浦キャンパスにて計画しています。

芝浦卒業生のつながりを生かして支部活動の活性化を図っていく所存ですので、今後ともよろしく願い致します。



「社内OB・OG会時の集合写真（校友会支部設立前）」

“支部旗” 全国にひるがえる

芝浦工業大学校友会は本年で設立 92 周年を迎えます。

校友会は、地域支部・海外支部・同好会支部・職域支部を合すると全国で 92 の支部数になり、卒業生は国内外のあらゆる地域、会社などで活躍しています。



平成30年全国総会で揚げた支部旗



支部旗

支部旗は、我ら同窓生の旗じるしであり、永遠に芝浦工業大学の卒業生としての誇りであります。

支部総会を連続 4 回開催し、各回 10 名以上の参加者があり、継続して開催されている支部に授与されます。

これから授与される支部のご健闘を祈ります。

校友会「会員名簿」について

校友会では、2017 年 3 月に校友会会員名簿を刊行し販売しております。2016 年 3 月時点での卒業生、約 50,000 名が掲載されております。お仕事や同好活動など会員同士の連絡にお使ください。

●名簿の内容について

この名簿は卒年、学科単位だけではなく、各県別、郵便番号順に編集したものです。このため各市町村にどのような会員（卒業生）がおられるか把握でき、地域での会員の繋がりと利用し易さを目指し編集されたものです。

なお、制作に当たっては個人情報保護法を遵守することは当然ですが、その精神を尊重するとともに、大学とも十分協議し、制作したものであることを付け加えさせていただきます。

●ご購入方法について

芝浦工業大学卒業生に限り、お一人様一冊のみご購入いただけます。氏名、卒年、学科、送付先住所および「名簿購入」と明記の上、代金 5,000 円（送料込）をご送金ください。ご入金確認次第発送いたします。

《御振込先》 郵便局 加入者名 : 芝浦工業大学校友会
口座番号 : 00160-5-9575



◀ 5,000 円
(送料込)

芝浦工業大学校歌 CD の販売



「曲目」

1. 芝浦工業大学校歌
2. 応援歌
3. 校歌演奏
指揮：金 洪才
独唱：望月哲也
演奏：新日本フルハーモニー交響楽団

「校歌」

作詞：北原白秋
作曲：山田耕作

● CD に関するお問い合わせ先

【芝浦工業大学校友会】
〒108-8548
東京都港区芝浦 3-9-14 芝浦工業大学内
TEL：03-5445-9634 FAX：03-5445-9635
e-mail：sitfriends@shibaura-koyu.jp

●振込先

郵便局：加入者名：芝浦工業大学校友会
口座番号：00160-5-9575

●代金

定価：2,000 円

箱根駅伝！本選出場を目指して！



陸上競技部駅伝

総監督

角野 和明

建築学科（空手道部）

昭和 46 年卒業

芝浦工業大学の創立 100 周年を期し、世界で活躍する理工学人材の育成を教育目標とする芝浦工業大学において、大学のブランド力を向上させることを目的に、「創立 100 周年記念事業駅伝プロジェクト支援制度」が創設されました。

御承知の通り校友会においては、平成 17 年（会長 五十嵐久也先輩）に、箱根駅伝支援準備室が開設、陸上競技部駅伝ブロックが、箱根駅伝予選会、本選に出場する事を目標に支援活動を行ってきました。

その間箱根駅伝予選会に連続 6 回出場、また昨年は箱根駅伝本選一区に、矢澤健太君（土木工学科卒業）が出場、その事により全国の校友に感動と勇気を与えてくれました。この喜びは一生忘れる事はないでしょう。

この度、前田直樹氏に駅伝部監督として就任頂き、部員 30 名が毎日トレーニングまたは合宿を行っています。監督は前東京農業大学就任時代、連続 7 回計 8 回の箱根駅伝本選出場に貢献、卓越された指導者であります。

必ず芝浦工業大学陸上部が箱根駅伝本選出場を創立 100 周年記念の年には実現すると信じています。

また、本年度の予選会が、10 月 26 日（土）東京都立川市・国営昭和記念公園にて開催されます。是非応援の程よろしくお願い致します。

最後に校友の皆様にとって良き令和元年で有ります様に心よりお祈り申し上げます。

「大学に帰ろうキャンペーン」芝浦祭に行こう！

今年のホームカミングデーは、諸般の事情により中止になりました。

校友会では、ホームカミングデーに代わり「大学に帰ろうキャンペーン」として在校生の和を両立するイベントを企画しました。今年の芝浦祭に皆様に奮って参加していただき、学生時代にタイムスリップしてみませんか。

第 47 回芝浦祭 日時：令和元年 11 月 1 日（金）～ 11 月 3 日（日）

会場：豊洲キャンパス

参加される皆様には、在校生の支援として 1 名 500 円の金券を用意いたします。

当日受付にお名前、学部、学科、卒業年度、住所をお伝えいただき受領ください。学生たちの出店等で利用していただき、学生支援にご協力ください。

校友会 常任幹事会 名簿

(役員を除く) 令和元年6月8日 現在



常任幹事
中村 宏
土木工学科 昭和37年



常任幹事・組織委員会
前野 和博
工業経営学科 昭和46年



常任幹事・例規委員会・
財務委員会
神野 兼次
建築工学科 昭和49年



常任幹事・組織委員会
大丸 征史
電子工学科 昭和39年



常任幹事
橋 登弘
建築学科 昭和46年



常任幹事
川本 勝一
建築学科 昭和49年



常任幹事・組織委員会
金井 昭三
機械工学第二学科 昭和41年



常任幹事・
在校生就職支援委員会
赤井 和憲
土木工学科 昭和47年



常任幹事・
在校生就職支援委員会
小貫 諭
工業化学科 昭和50年



常任幹事・財務委員会
浅野 昌宏
電子工学科 昭和44年



常任幹事・特別委員会
井出 恵尉
工業経営学科 昭和47年



常任幹事・例規委員会
鈴木 卓
金属工学科 昭和50年



常任幹事・組織委員会
橋本 雅夫
建築学科 昭和45年



常任幹事・組織委員会
長井 義明
建築学科 昭和47年



常任幹事・事業委員会
森本 静
工業経営学科 昭和50年



常任幹事・組織委員会
小野瀬 等
通信工学科 昭和45年



常任幹事・財務委員会
森川 理
電子工学科 昭和47年



常任幹事・特別委員会
浅見 勝
建築学科 昭和51年



常任幹事・総務・広報委員会
小平 和一郎
電子工学科 昭和45年



常任幹事・例規委員会
赤坂 邦雄
機械工学科 昭和48年



常任幹事・例規委員会
早川 金光
建築学科 昭和51年



常任幹事・組織委員会
谷川 潮
機械工学第二学科 昭和45年



常任幹事
住友 正樹
建築学科 昭和47年



常任幹事・校友会事務局長
依田 幸秀
金属工学科 昭和51年



常任幹事・事業委員会
植松 恵一
通信工学科 昭和46年



常任幹事・総務・広報委員会
佐野 茂彰
機械工学科 昭和48年



常任幹事
渡邊 淳悦
建築学科 昭和51年



常任幹事・組織委員会
内田 武男
土木工学科 昭和46年



常任幹事・事業委員会
高木 光一
機械工学科 昭和48年



常任幹事・組織委員会
関根 良
電気工学科 昭和52年



常任幹事・特別委員会
枝広 英俊
建築学科 昭和46年



常任幹事
高野 義昭
土木工学科 昭和48年



常任幹事・組織委員会
犬塚 祥二
建築工学科 昭和54年



常任幹事・特別委員会・
在校生就職支援委員会
角野 和明
建築学科 昭和46年



常任幹事・事業委員会
斎藤 教男
建築学科 昭和49年



常任幹事・例規委員会・
在校生就職支援委員会
鯨井 武
通信工学科 昭和54年



常任幹事・財務委員会
安齋 正博
機械工学第二学科 昭和55年



常任幹事・例規委員会
百瀬 和浩
建築工学科 昭和60年



常任幹事・財務委員会
荻谷 義治
金属工学科 平成2年



常任幹事・事業委員会
田村 稔
建築学科 昭和55年



常任幹事・組織委員会
渡辺 通宏
二部機械工学科 昭和60年



常任幹事・例規委員会
鈴木 洋
通信工学科 平成2年



常任幹事・総務・広報委員会
中根 眞行
工業経営学科 昭和55年



常任幹事・特別委員会
山田 サトシ
建築学科 昭和61年



常任幹事・事業委員会
小宮山 由起江
電気工学科 平成2年



常任幹事・財務委員会
文倉 辰夫
電気工学科 昭和55年



常任幹事・
在校生就職支援委員会
内山 毅
金属工学科 昭和62年



常任幹事・例規委員会
武藤 憲司
通信工学科 平成3年



常任幹事・特別委員会
筋野 豊司
機械工学第二学科 昭和56年



常任幹事・総務・広報委員会
佐藤 勝
二部機械工学科 昭和62年



常任幹事・例規委員会
齋藤 敦史
通信工学科 平成4年



常任幹事・事業委員会
平井 良樹
工業経営学科 昭和57年



常任幹事・総務・広報委員会
藤田 利行
電気工学科 昭和62年



常任幹事・例規委員会
安田 俊司
機械工学第二学科 平成4年



常任幹事・組織委員会・
在校生就職支援委員会
山口 幸治
建築工学科 昭和57年



常任幹事・例規委員会
岩本 毅
建築工学科 昭和63年



常任幹事・例規委員会
山口 正樹
電子工学科 平成5年



常任幹事・財務委員会
作山 康
建築工学科 昭和58年



常任幹事・総務・広報委員会・
在校生就職支援委員会
大森 隆広
建築工学科 昭和63年



常任幹事・財務委員会
野城 正人
工業経営学科 平成5年



常任幹事・組織委員会・
在校生就職支援委員会
野口 忍
工業経営学科 昭和58年



常任幹事・事業委員会
鶴 浩一郎
建築学科 昭和63年



常任幹事・特別委員会
新井 剛
金属工学科 平成7年



常任幹事・事業委員会
柴田 真利
工業化学学科 昭和59年



常任幹事・事業委員会
村島 充裕
建築学科 昭和63年



常任幹事
安藤 毅
建築学科 平成7年



常任幹事・財務委員会・
在校生就職支援委員会
角田 隆二
土木工学科 昭和59年



常任幹事・総務・広報委員会
安藤 吉伸
機械工学科 平成1年



常任幹事・事業委員会
市川 拓
機械工学第二学科 平成8年



常任幹事・特別委員会
佐々木 克則
電気工学科 昭和60年



常任幹事・特別委員会
福田 栄寿
機械工学第二学科 平成1年



常任幹事・組織委員会
坂地 世紀
建築学科 平成8年



常任幹事・組織委員会

板垣 真人

建築工学科 平成9年



常任幹事・事業委員会

福井 浩二

工業化学科 平成10年



常任幹事・総務・広報委員会

中川 雅史

土木工学科 平成12年



常任幹事・事業委員会

野元 明俊

二部電気工学科 平成12年



常任幹事・総務・広報委員会

今井 理裕

材料工学専攻 平成14年



常任幹事・財務委員会・

在校生就職支援委員会

中島 毅

材料工学科 平成14年



常任幹事・事業委員会

奥田 耕一郎

環境システム学科 平成15年



常任幹事・事業委員会

小坂 哲平

土木工学科 平成15年



常任幹事・総務・広報委員会

滝下 勇

二部電気設備学科 平成16年



常任幹事・事業委員会・

在校生就職支援委員会

田口 智大

建築工学科 平成16年



常任幹事・総務・広報委員会

畠山 佳代

環境システム学科 平成17年



常任幹事・事業委員会・

在校生就職支援委員会

西河 洋一

MOT 平成21年



常任幹事・総務・広報委員会

川野 亜希

応用化学科 平成23年



常任幹事・事業委員会

福井 幸博

地域環境システム専攻

平成23年

校友会 相談役・顧問 名簿

令和元年6月8日 現在



顧問

岡本 嘉行

建築学科 昭和34年



顧問・組織委員

岡本 泰明

機械工学科 昭和41年



顧問・組織委員

渡辺 碩

建築学科 昭和45年



顧問・組織委員

滝澤 厚征

建築学科 昭和39年



顧問・組織委員

雲然 國幸

機械工学第二学科 昭和41年



顧問・総務・広報委員会

泉澤 定雄

建築学科 昭和46年



顧問・組織委員

田口 継道

建築学科 昭和39年



顧問・事業委員

吉野 巖

機械工学科 昭和43年



相談役・組織委員

郡司 卓臣

機械工学科 昭和43年



顧問・例規委員

今村 均

機械工学科 昭和40年



顧問・組織委員

岩本 行雄

工業化学 昭和44年

校友会 支部及び支部長紹介

令和元年6月8日現在

支部名	支 部 長	
	氏 名	卒年・学科
北海道	米澤 稔	44・建築学科
青森	木村 喜有	44・土木工学科
岩手	遠藤 龍一	50・建築工学科
秋田	池田 広志	55・建築工学科
宮城	杉崎 年英	48・土木工学科
山形	川越 進	46・土木工学科
福島	斉藤 敬一郎	34・建築学科
栃木	池田 猛	48・土木工学科
茨城	増山 栄	47・建築学科
群馬	青木 豊治	57・機械工学
埼玉	吉池 富士夫	51・金属工学科
千葉県	金井 昭三	41・機械工学第二学科
東京総支部	谷川 潮	45・機械工学第二学科
多摩	中根 眞行	55・工業経営学科
神奈川	長井 義明	47・建築学科
新潟	臼井 静男	48・土木工学科
長野	北村 武彦	45・建築学科
山梨	渡辺 一郎	46・建築工学科
富山	辻田 恵一	47・機械工学第二学科
石川	西 正次	49・土木工学科
福井	永井 弘明	53・建築学科
岐阜	平井 良樹	57・工業経営学科
静岡県同窓会	鈴木 和幸	50・土木工学科
愛知	榊原 周造	45・建築工学科
三重	谷水 佐久也	50・電子工学科
関西	松岡 英治	54・建築学科
鳥取	富本 哲郎	40・電気工学科
岡山	沖本 光昭	45・通信工学科
島根	浅野 正教	45・建築学科
広島	川本 勝一	49・建築学科
山口	福田 隆行	50・土木工学科
香川	田岡 哲也	57・金属工学科
徳島	佐藤 幸好	50・建築工学科
愛媛	児山 均	49・機械工学第二学科
高知	依光 成元	56・建築工学科
大分	河野 元勝	45・土木工学科
福岡	角 敬之	45・工業化学科
宮崎	長池 正恕	50・電子工学科
熊本	永田 昂生	42・土木工学科
佐賀	山田 清人	48・通信工学科
長崎	藤本 博文	61・工業化学科
鹿児島	小園 定夫	48・建築工学科
沖縄	仲西 聰	56・土木工学科
韓国	金 範得	19・土木工学科

支部名	支 部 長	
	氏 名	卒年・学科
台湾	江 文雄	61・機械工学第二学科
タイ王国	野本 利迪	H2・建築工学科
上海	芝田 明久	H4・建築工学科
シンガポール	長尾 剛	61・建築工学科
MOT同窓会	西河 洋一	H21・工学マネジメント専攻
機械工学科同窓会	高木 光一	48・機械工学科
よろく会	小寺 貴士	46・通信工学科
緑会	井家 良明	35・建築学科
英交會	浅野 昌宏	44・電子工学科
黒潮會	岡野 浩一	58・建築学科
二部のダークフォーゲル部OB会	伊藤 孝夫	51・機械工学科
錬心會	飯島 敏春	54・機械工学科
柔道部OB会	早川 金光	51・建築学科
ギター部OB会	神野 兼次	49・建築工学科
芝浦技術士会	鯨井 武	56・電気工学専攻
硬式野球部OB会	前野 和博	46・工業経営学科
TBT(鳥人間)OB・OG同窓会	安保 知佳	H27・通信工学科
ハンドボール部OB会	井出 恵尉	47・工業経営学科
ソフトテニス部OB会	早川 昇	44・建築学科
ヨット部OB会	柴田 真利	59・工業化学科
スキー部OB会	樋口 智美	38・建築学科
熱流体力学研究会	富山 博明	57・機械工学科
ラグビー部OB会	山田 豊人	54・電気工学科
奥村組芝浦会	坂地 世紀	H8・建築学科
神奈川県庁	鈴木 祥一	56・土木工学科
川崎市役所	長谷川 智巳	59・電気工学科
関電工芝浦会	鈴木 雅久	56・建築工学科
京三	片山 雅則	56・電気工学科
熊谷組芝浦会	宮澤 守	H3・建築学科
五洋建設芝浦会	柳 沢 純一	62・建築工学科
三芝會	岩本 毅	63・建築工学科
鹿芝會	増田 孝弘	63・建築工学科
清水建設芝浦会	鈴木 暁	H9・建設工学専攻
住芝會	鈴木 一巳	H1・電気工学科
大成芝浦会	石久保 猛	H7・建築学科
ダイダン	近藤 孝	56・建築工学科
大日本土木	長谷川 勝己	56・土木工学科
高砂熱学工業	竹内 祥貴	55・電気工学科
竹中芝浦会	安岡 千尋	57・建築工学科
戸田建設芝浦会	古越 仁	55・電気工学科
日比谷芝浦会	岡本 正仁	45・建築学科
フジタ芝浦会	森田 真治	58・電気工学科
芝友會	中村 信夫	19・機械工学科
不動産建設芝浦会	清水 修司	44・建築学科
前田芝浦会	黒岩 貴志	60・土木工学科

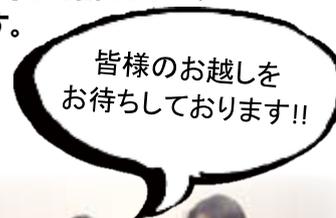
校友倶楽部 利用のお願い

校友倶楽部は、同窓会・女子会等で利用可能な校友の為の施設です。
お電話・メールで空き状況を確認して頂き、大いに活用して下さい。



◆ 利用に関して ◆

- ・ 芝浦工業大学卒業生であることが前提です。
- ・ 料 金 飲み放題付き 4,000円から 室料はホワイト・ブラック共に一室10,000円
- ・ 利用時間 月曜日から金曜日 14時～17時 17時～21時（飲酒を伴う利用は17時以降）
20時30分オーダーストップ
土曜日は要相談をお願いします。また、20名以下のご利用はお断りします。
日曜日・祝日は定休日 一団体2時間制でおねがいします。



空き状況の確認・ご予約はこちらまで

芝浦工業大学校友会 校友倶楽部
支配人 小野瀬 等

(TEL) 03-5445-9646 (FAX) 03-5445-9635

(E-mail) h-onose@shibaura-koyu.jp

小野瀬支配人(中)と

アシスタントの富田さん(右)川嶋さん(左)

卒業生の皆様へ

資格取得講座の御案内

芝浦工業大学校友会では、日建学院と提携し資格取得講座への紹介を行っております。校友会を通して申し込むと、通常学費より安く受講できますので、スキルアップやキャリアアップには是非お役立て下さい。

受講できる講座は日建学院が提供している講座6種です。これはWEB講座でインターネットを使用した動画による講義（個別コース）と通学による講義（通学コース）です。講義の内容はこの講座用に企画し、吟味されているものですので講師による不得手などが排除されており、効率的な学習により効果が期待できます。また、WEB講義は、通学が難しい地方や海外勤務の方でも受講可能です。（※事前に体験版で動作確認下さい）

□ 提供する講座

	【一般学費】	【校友会特別学費】
■ 1級建築士学科 (Web) 講座 (個別コース)	＝ 300,000円	➔ 150,000円 (2019年度受験)
■ 2級建築士学科 (Web) 講座 (個別コース)	＝ 300,000円	➔ 142,000円 (2019年度受験)
■ 宅地建物取引士 (Web) 講座 (個別コース)	＝ 100,000円	➔ 80,000円 (2019年度受験)
■ 1級建築士学科 本科 講座 (通学コース)	＝ 650,000円	➔ 590,000円 (2019年度受験)
■ 1級建築施工学科 講座 (通学コース)	＝ 250,000円	➔ 209,000円 (2019年度受験)
■ BIM入門講座 (Web) 講座	＝ 10,000円	➔ 6,000円 (2019年度受験)

※税別

□ 講座内容

- 講座内容は日建学院ホームページでも確認できます。
- 日建学院ホームページ
http://www.ksknet.co.jp/nikken/



□ 申込方法

- 校友会ホームページ上から必要事項を記入しお申込下さい。
校友会ホームページ http://www.shibaura-koyu.jp/
- 校友会にお申込後4日程度で担当ご希望の日建学院から連絡がいきます。
- 代金振り込み後、1週間でパスワードが通知されます。

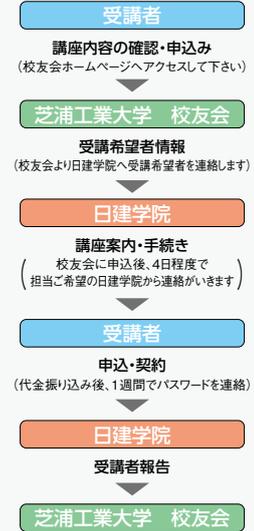


- ご不明な点は校友会事務局にお問い合わせください

芝浦工業大学 校友会 事務局

〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14 芝浦工業大学内
TEL: (03) 5445-9634 FAX: (03) 5445-9635
E-mail: sitfriends@shibaura-koyu.jp

□ 案内から申込まで



技術士試験対策講座のご案内

本講座は、技術士試験受験者の合格サポートを目的としています。
他に類を見ない特別料金で芝浦工業大学の教員が合格を全力サポートしています。

申込みはこちら



技術士資格取得へのプロセス

① 大学エンジニアリング課程修了者

② 一次試験（筆記試験）
(日本技術者教育認定機構(JABEE)の教育課程修了者は一次試験免除)

一次試験対策講座
大学で学んだ講義を振り返り、過去の出題傾向の分析をもとに基礎・適性科目、電気電子部門、機械部門、建設部門各分野の基礎について解説します。広い出題範囲の中から取捨選択することは困難であることから、ポイント整理に役立ちます。

合格

③ 修習技術者（登録で技術士補）
(一次試験合格者及びそれと同等と認められた者)

④ 指導技術士の下で実務経験4年または、
優れた指導者の監督の下で実務経験4年または、
実務経験7年のいずれかを満たした者

⑤ 二次試験（筆記試験、口頭試験）

二次試験対策講座
受験申込書・業務経歴票(技術的体験)の書き方、答案作成、口頭試験のポイントに重点を置き講義、答案添削を行います。電気電子部門、機械部門、建設部門で受験される方をサポートします。また、講座動画の配信を開始しました。

合格

⑥ 技術士登録

【お問い合わせ先】
芝浦工業大学 校友・後援会連携課 (内 芝浦技術士会事務局)
Tel. 03-5859-7030 / Fax. 03-5859-7031
E-mail: koyu@ow.shibaura-it.ac.jp

校友会本部事務局紹介

校友会会員の皆様へ

芝浦工業大学校友会事務局の局長を平成30年9月より拝命されました、S51年金属工学科卒業の依田幸秀と申します。昨年就任より早8ヶ月が過ぎてしまいました。事務局長としてはまだまだ経験不足でございますが、大任をお受けしたからには、誠心誠意、校友会の発展のための職務に尽力いたす覚悟でございます。どうか今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

校友会事務局一同、校友会会員様、各支部会員様へのお力になれますように努力してまいりますので、ご指導の程宜しくお願いいたします。
(依田)

校友の皆様こんにちは事務局の宮坂です。事務局に勤務してあっという間に一年半が過ぎ、初心者マークもようやく外れ（自称です）芝浦キャンパス前の空を見上げる気持ちの余裕が少しだけ出てきました。皆様と直接お会いできる機会はなかなかありませんが、お近くへお出かけの際はぜひ事務局へお立ち寄りください。美味しいお茶と笑顔でお待ちしております。年はいっておりますがまだまだ未熟者です、皆様の温かいご指導よろしく申し上げます。
(宮坂)

校友会事務局2年目の中瀬古幸子と申します。校友会皆様からのお問合せや、支部に関する業務を行わせていただいております。武士道精神を重んじ、感謝の気持ちと思いやりを忘れず校友会事務局道に精進してまいります。趣味は美味しいお酒を飲むことです。事務局に寄られた際はぜひお声がけください。至らない点多々あるかと存じますが、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。
(中瀬古)



依田事務局長（中央）、宮坂さん（左）、中瀬古さん（右）

SHIBAURA

ORIGINAL GOODS

● 生協でオリジナルグッズ販売中です！

芝浦工大の校章とスクールカラーの新緑をモチーフとしたオリジナルグッズが販売されています。マグカップやクッキーなども増え、ラインナップも豊富です。



湯呑み 700円

マグカップ 750円

クリアフォルダ（大学名入り） 130円
クリアフォルダ（校歌入り） 130円

ボールペン 100円
シャープペン 100円

豊洲キャンパス生協、大宮キャンパス生協にて販売しています。ぜひお買い求めください。

お問い合わせ先：03-5859-7900（豊洲キャンパス）
048-720-5271（大宮キャンパス）

スカーフ 4,000円
ネクタイ 4,000円

クッキー 9枚（箱入り） 700円
クッキー 19枚（缶入り） 1,400円

（※いずれも税込み）

在校生就職支援ご協力のお願い

かねてより各支部から芝浦工業大学の学生が自社にほしいとのご要望を頂いておりました。それを受け、校友会執行部に「在校生就職支援委員会」を設置し就職支援活動を実施しております。芝浦工大は就職率が高い大学ですが、就職率100%にはまだ至っておりません。全国卒業生の関連企業の皆様に、求人のご協力をお願い申し上げます。12月以降の採用もご検討いただけるような、中小問わず企業の校友の皆様へご協力をお願い申し上げます。

- 1、校友会ホームページから「求人申込書」をダウンロード、記入
- 2、校友会事務局へ提出
- 3、校友会事務局が大学の就職担当者へ提出
- 4、学生の希望があった場合、校友会事務局から企業担当者へ連絡
- 5、学生と企業で出願、選考
- 6、結果を校友会事務局へ連絡

即希望に添えるとは限りませんが、広く学生にPRをしたいと考えております。何卒ご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

尚、平成31年3月現在、校友会を通した求人企業数は「約164社」でした。
全国の関係者の皆様、誠にありがとうございました。

求人申込書： <http://www.shibaura-koyu.jp/renraku/info.php?id=78>
送付先： 〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14 芝浦工業大学内
E-mail： sitfriends@shibaura-koyu.jp
Tel： (03) 5445-9634 Fax： (03) 5445-9635

編集者・協力者 一覧

順不同、敬称略

◆編集者

芝浦工業大学校友会 総務広報委員会

林田 和雄 (昭和52年 建築学科卒)
小平和一郎 (昭和45年 電子工学科卒)
佐野 茂彰 (昭和48年 機械工学科卒)
中根 眞行 (昭和55年 工業経営学科卒)
佐藤 勝 (昭和62年 二部機械工学科卒)
藤田 利行 (昭和62年 電気工学科卒)
大森 隆広 (昭和63年 建築工学科卒)
安藤 吉伸 (平成1年 機械工学科卒)
中川 雅史 (平成12年 土木工学科卒)
今井 理裕 (平成14年 材料工学専攻卒)
滝下 勇 (平成16年 二部電気設備学科卒)
島山 佳代 (平成17年 環境システム学科卒)
川野 亜希 (平成23年 応用化学科卒)
顧問 泉澤 定雄 (昭和46年 建築学科卒)

校友会本部事務局

依田 幸秀 (昭和51年 金属工学科卒)
宮坂 文枝
中瀬古幸子

<p>いい仕事には、体温がある。</p>  <p>取締役会長 小川 達生 (昭和51年 通信卒)</p> <p>株式会社 日新コンピュータシステム</p> <p>〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3 TEL 03-5802-0321 FAX 03-5802-0322 URL http://www.nisin.co.jp/</p>	<p>造園設計施工・緑化土木事業 株式会社</p>  <p>豊橋園芸ガーディン</p> <p>http://www.garden-g.com/</p> <p>代表取締役会長 榎原 周造 (1970年卒 建築工学科)</p> <p>豊橋本社 〒441-8077 豊橋市神野新田町水神下64 TEL: 0532-45-6679 FAX: 0532-48-5613 名古屋事業所 〒454-0059 名古屋市中川区福川町3-1-22 TEL: 052-369-2060 FAX: 052-369-1016 知多事業所 〒470-2203 知多郡阿久比町坂山西ノ海道山16-4 TEL: 0569-47-1220 FAX: 0569-47-1221</p>	<p>— 顧客満足度・地域No.1を目指して —</p>  <p>ISHIKAWA 総合建設業</p> <p>石川建設株式会社</p> <p>代表取締役社長 石川 雅之</p> <p>本社 〒373-0853 群馬県太田市浜町10番33号 0276-46-1621(代)</p> <p>URL http://www.ishikawa-inc.co.jp</p>	<p>「地域と伴に」</p> <p>豊洲で唯一の総合建設会社です。 東京都の公共事業で地元の臨海エリアを 中心に地域の発展に貢献しています。</p> <p>芝浦工大豊洲校舎の北向いのマンションに 会社があります。いつでも見学に来て下さ い。歓迎します(♡)</p> <p> 東海工営株式会社</p> <p>〒135-0061 東京都江東区豊洲1-3-1 代表取締役社長 小形成之(土木工学 S52 卒) TEL 03-5548-2517 http://www.tokai-koei.co.jp</p>
---	--	--	---



未来へ—— 安心を創る

藤木工務店

2020年創業100年

東京支店 東京都新宿区四谷4-16-3 TEL:03-3357-1611 <http://www.fujiki.co.jp>

55会有志

加藤善次郎 機械工学科卒	福井幸博 電気工学科卒
釜井重一 建築学科卒	文倉辰夫 電気工学科卒
田村 稔 建築学科卒	元井 彰 土木工学科卒
中根眞行 工業経営学科卒	渡辺通宏 二部機械工学科卒



代表取締役
釜井 重一

〒321-0966 栃木県宇都宮市今泉4-16-23
電話: 028-621-0015
携帯: 090-4371-5891
E-Mail: shigekezu_kamai@yahoo.co.jp

まず、パートナーとして。
つぎに、エキスパートとして。



株式会社 **建匠**

代表取締役 **塚 越 浩 之**
(5 5 9 年 機 械 工 学 科 卒)

東京都葛飾区西亀有4丁目11番9号
TEL 03-5682-7102
<https://www.kk-kensho.com>

地球環境を大切に
する
日本環境設計

代表取締役社長 **加藤 善次郎**
(昭和55年機械卒)

〒231-0028
横浜市中区翁町2-9 ファム横浜本社ビル5階
TEL (045) 212-2757(代)
FAX (045) 212-2758

天・地・人を熟知し、環境をつくる。



MARUNISHI
株式会社 **丸西組**

代表取締役社長 西 正次 (昭和四九年卒業)

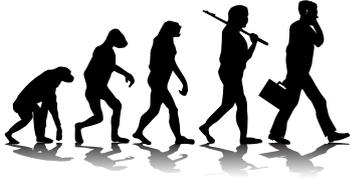
石川県小松市白江町121-1
TEL (0761) 22-6100 FAX (0761) 22-6129
<http://www.marunishigumi.co.jp>

(株)宮建築設計

代表取締役 **宮本 博**
昭和47年卒 建築学科
(校友会 徳島県支部顧問)

本社: 徳島市福島1-5-6 TEL:088-625-5505
東京本店: 東京都中央区八丁堀2-28-10 TEL:03-6280-3305
<http://www.miyasekai.com>
E-mail: miyamoto@miyasekai.com

変わり続けるDNA



 **六興電気株式会社**
代表執行役社長 長江 洋一

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 / TEL:03-3459-3366 / URL:<http://www.6kou.co.jp>

KQMI 品質経営と改善

自動車・航空宇宙産業への支援 (IATF16949, JISQ9100)

株式会社 **熊谷QMインダストリ**

代表取締役 **鯨井 武** (昭和54年通信工学科卒)

技術士(経営工学部門)
IATF16949自動車産業品質マネジメントシステム審査員
(一社)ものづくり改善ネットワーク 改善インストラクター
〒360-0032 熊谷市銀座6-6-14
tkujirai@green.ocn.ne.jp / 090-1422-5670

確かな技術と信頼の施工



株式会社 **豊蔵組**
会長 **豊蔵 世紀**

本社
〒920-0867
石川県金沢市長土塚3丁目13番8号
TEL(076)263-2231(代)
FAX(076)261-0464

TOHZAI



H₂O
TREATMENT

 **東西化学産業株式会社**

本社/〒540-6118 大阪府中央区城見2-1-61
(ツイン21MIDタワー18階)
TEL.(06)6947-5511 FAX.(06)6947-5510

人、街、社会、地球に優しい空間づくり

<総合ビルメンテナンス>

株式会社ハリマビシステム

代表取締役社長 鴻 義久(昭和47年 土木工卒)

[本社] 〒220-8116
横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー16階
TEL:045(224)3550



http://www.bstem.co.jp



電気設備の設計から施工まで
創業大正12年(1923年)

三興電気株式会社

代表取締役 吉田 聡

東京都中央区銀座7-13-5
電話 03-3547-5980

創業大正十三年 **正直屋**グループ

パーティ、高級仕出し、 会議用弁当は正直屋に おまかせください!

●ご注文・お問い合わせは

東京正直屋

0120-33-1171

http://www.shojikiya.co.jp/

人を想い、場を創る。

OKamura

株式会社オカムラ 日本橋支店

東京都中央区京橋 2-1-3
京橋トラストタワー 11 階
TEL:03-3246-2411 FAX:03-3246-2419

http://www.okamura.co.jp/

豊かな環境をクリエイトする



扶桑電機株式会社

代表取締役 鬼嶋 一司

総合電気設備工事

情報通信コンサルタント

パルス・オブ・ドリーム株式会社

代表取締役

井上 正 教

(昭和38年 電気工学科卒)

〒286-0018 成田市吾妻 1-31-5
TEL・FAX.0476-26-7972



HOTEL **East 21** TOKYO

オーグランドホテルズ&リゾーツ
ホテル イースト21東京
東京都江東区東陽 6-3-3
TEL.03-5683-5683 (代表)

時代にまっすぐ、技術にまじめです。



日比谷総合設備株式会社

東京都港区三田3-5-27
〒108-6312 TEL:03-3454-1385
http://www.hibiya-eng.co.jp/

本 社 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-12-8
〒222-0033 ☎045-472-0201(代)

東京支店 東京都渋谷区本町 2-16-4 扶桑東京ビル
〒151-0071 ☎03-3376-1444(代)
http://www.fuso-denki.co.jp




快適な環境づくりに
確かな技術で貢献する

住友電設株式会社

取締役社長 坂崎 全男

http://www.sem.co.jp/



空気調和・衛生設備設計施工

株式会社 東京サーマル

〒108-0075
東京都港区港南1-6-34 品川イースト3F
TEL: 03-6712-0877 (代表)
URL: http://www.tokyo-thermal.co.jp

世界が求める
「セラミックス原料」
「ファインセラミックス製品」



大平洋ランダム株式会社

〒931-8555
富山県富山市岩瀬赤田町 1 番地
Tel 076-438-1211
Fax 076-438-8667
http://www.rundum.co.jp/



総合建築設備業 戸田建設グループ

株式会社アベックエンジニアリング

代表取締役社長 **神野 兼次**

東京本部: 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-6-1 八丁堀センタービル 4F
TEL 03-6222-2830 FAX 03-6222-2840

ARによる印刷・IT・映像の **Re:活用**は
廣済堂にお任せください!

ARで今までの印刷物が変わります!!

従来印刷物	従来印刷物	従来印刷物
POP・チラシ	パンフレット	ポスター・総選挙
×	×	×
情報サイト	ARスタンプラリー	ARクーポン

ARスタンプラリーもARクーポンも、ARで印刷されたQRコードを読み取り、スマートフォンで撮影することで、AR映像が再生されます。AR映像は、AR対応のスマートフォンで撮影する必要があります。

AR映像は、AR対応のスマートフォンで撮影する必要があります。AR映像は、AR対応のスマートフォンで撮影する必要があります。

印刷 Web システム アプリ VR 映像 イベント BPO 企画

(株)廣済堂 ソリューション本部
TEL 03-5484-8811 (受付時間: 月-金 9:00-17:00)
ホームページ: <http://www.service-kosaido.jp/>



KOKUYO

ひらめき・はかどり・こちよさ

コクヨマーケティング株式会社

〒100-6018 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング18階

安全に、やさしさを



ナカ工業

代表取締役社長 **笹嶋敏之**

〒110-0015
東京都台東区東上野 2-18-10
TEL.03-5817-5300

http://www.naka-kogyo.co.jp

Quality gives priority to all
白石建設株式会社

いい建築ってなんだろう？



〒166-8540
東京都渋谷区高円寺南4-15-11
TEL: 03-3314-1101(代表)

<http://www.shiraishi-ken.co.jp>

2020年に100周年を迎えます。

尾畑長硝子株式会社

代表取締役
会長 **尾畑 雄二郎**
(昭和46年 建築学科卒)

〒460-0008 名古屋市中区栄五丁目25番28号
TEL: 052-261-1721 FAX: 052-241-1440

We Find the Way



日本通運株式会社 首都圏支店
移転引越第二営業部 秋葉原事業所
〒114-0013 東京都北区東田端2丁目15番8号
連絡先 03-5901-9022
URL <http://www.nittsu.co.jp>

電気通信設備工事・電気工事のことならお任せ下さい

お客様の多様なご要望に対応し何でもできる
小回りのきく小さな技術集団です

IZUMIコミュニケーションサービス株式会社
代表取締役社長 **大橋 晃**

〒144-0052 東京都大田区蒲田一丁目7番10号IZUMIビル
TEL: 03-5714-0692
URL <http://www.y-jet.co.jp>

緑化事業を通じて

就労支援を行っております



株式会社アカネ

代表取締役 **金子 和平**
(昭和44年 経営工学科卒)

<http://akane-green.co.jp>

株式会社IMA建築設計事務所



勤務地: 〒114-0023
東京都北区滝野川17-22-6 IMAビル6F
TEL 03-5567-2222 FAX 03-5567-2221
URL: <http://www.ima-a.co.jp/>



PÂTISSERIE CREATIONS
GATEAU FESTA HARADA

www.gateaufesta-harada.com

想いをかたちに 未来へつなぐ



竹中工務店

〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1



新日本リフォーム株式会社

- 大規模修繕工事 ●耐震補強設計・補強工事
- 給排水・空調設備工事
- 個人宅リフォーム工事

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-3-13 三建室町ビル4階
TEL: 03-3241-8814 FAX: 03-3270-1538
URL: <http://www.sn-reform.co.jp/> 担当: 渡辺

豊かな暮らしを支え続ける、確かな技術。



東光電気工事株式会社

TOKO ELECTRICAL CONSTRUCTION CO., LTD.

■内線事業 ■外線事業 ■再エネ事業 ■空調・衛生事業 ■海外事業 ■事業開発

本社 〒101-8350 東京都千代田区西神田1丁目4番5号 TEL (03)3292-2111



<http://www.tokodenko.co.jp/>

ジャパンプロテクトグループは
お客様へ「安全」「安心」「信頼」をお届けします

警備業を軸に環境事業・人材派遣・調査の
トータルマネジメントサービスを提供する

ジャパンプロテクト株式会社
102-0004 東京都千代田区二番町5-7 JP本社ビル
03-3265-6861(代) <http://www.jp-group.jp>

DAIHO
CORPORATION



人と地球の**未来**のために。

地球の未来と発展のために、人と自然の調和を創造する、
エンジニアリング・コンストラクターであり続けたい……
それが、私たちの願いであり、使命と考えています。

大豊建設株式会社

〒104-8289 東京都中央区新川1-24-4
TEL 03-3297-7000
<http://www.daiho.co.jp/>

常務執行役員 東京土木支店長 **竹内 清**
(昭和56年 土木工学科卒)

想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
鹿島

鹿島建設株式会社
鹿島建設株式会社横浜支店

代表取締役社長
専務執行役員支店長

押味至一
野村高男

私も日建で
頑張りました。

皆さまの合格実績に支えられ

あかけさまで
50
Anniversary th
since 1969

これから
あなたの夢、応援します

1級建築士合格 / 橋本 優香さん

建築士・宅建士・各種施工管理技士

日建学院

日建学院コールセンター
☎0120-243-229

株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋2-50-1
受付/AM10:00~PM5:00(土・日・祝日は除きます)

山形の手作りの地酒

朝日川

朝日川酒造株式会社

山形県西村山郡河北町谷地乙93

加工開発のメーカーです。
セラミックスの加工は
当社へご相談ください。

取締役会長 小貫 諭
(1975 工化卒 1977 修士修了)

群馬セラミックス株式会社

〒375-0055
群馬県藤岡市白石1444
Tel 0274-22-2096 Fax 0274-24-4974
<https://www.guncera.co.jp>

三井住友建設
<https://www.smcon.co.jp>

はしも、
まちも、
ひとつも。

橋をわたり、街をあるき、大切な人とすごす。
そんな日々のくらしがいつまでも続くよう、
豊かな未来につながるものづくりに全力で取り組みます。

なくてはならない企業、
トビシマ。

トビシマは、高度な防災・減災技術を進化させ、
安全で安心な都市と環境のために
みなさまと共に明日を描き続けます。

防災のトビシマ New Business Contractor

飛島建設 本社/〒108-0075 東京都港区港南1-8-15 Wビル
TEL 03-6455-8300 <http://www.tobishima.co.jp>

SANKEN
ENVIRONMENTAL ENGINEERING

人と空気と水の
環境創造。

<https://skk.jp/>
三建設備工業

TACY 50th Anniversary

世界初の多能式自動券売機を開発
(日本機械学会 機械遺産「第50号」認定)
交通システム機器のパイオニア

株式会社 **高見沢サマリネテック**
代表取締役社長 高見澤 和夫

〒164-0011 東京都中野区中央2丁目4番5号
TEL 03-3227-3361
URL <http://www.tacy.co.jp>

KIMURA
あおもりの未来へ、エールをおくろう。

総合建設業

株式会社 木村建設

代表取締役 木村 喜有
(昭和44年土木工学科卒)

〒030-0902
青森県青森市合浦二丁目10番21号
TEL: 017-741-5244
FAX: 017-741-5230
URL: <http://www.kimken.co.jp/>

WitteiLife
株式会社ニッテイライフ

不動産建設 芝浦会
代表取締役 佐藤 隆之
(H2 工業経営 卒)

本 社 東京都新宿区新宿 6-28-7 新宿イーストコート 3 階
〒160-0022 TEL.03-4589-6911 FAX.03-4589-6312
目黒支店 東京都目黒区目黒 1-4-11 目黒NTビルディング1 階
〒153-0063 TEL.03-6420-0081 FAX.03-6420-0085
高円寺支店 東京都杉並区高円寺南 4-26-16 芦野ビル 3 階
〒166-0003 TEL.03-6383-1771 FAX.03-6383-1882

SMBC
三井住友銀行
SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION

業務用酒類食材卸
宮内庁御用達
享保2年(1717年)創業

株式会社 **ぬ利彦**

代表取締役 九代目 中澤彦七
東京都中央区京橋2丁目9番2号
電話 (3535) 5311 (代表)

人が集うところに、
コトブキのイスがあります。

K・O・T・O・B・U・K・I コトブキセーティング株式会社
www.kotobuki-seating.co.jp
サポートセンター TEL.0800-170-7111 FAX.0800-170-8222

LIXIL
Link to Good Living

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、豊かで快適な生活の
未来を創造する住まいと暮らしの「総合住生活企業」です。

株式会社 LIXIL <https://www.lixil.co.jp/>

環境チャレンジ!
TakasaGo!



代表取締役会長兼社長執行役員 大内 厚

東京都新宿区新宿 6-27-30
新宿イーストサイドスクエア 12 階
電話 03 (6369) 8212
https://www.tte-net.com

人と地球にやさしい
環境制御・エネルギーの東テック
Totech Corporation



東テック株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-11-11
TEL:03-3242-3229(代表)
URL:http://www.totech.co.jp



1年で、
45,000戸を
建てる。

分譲住宅、日本一^{*2}



代表取締役社長 西河 洋一

〒180-0013 東京都武蔵野市西久保一丁目2番11号
tel 0422-60-8888 http://www.ighd.co.jp

*1 分譲住宅、注文住宅、マンションの合計
*2 分譲戸建住宅市場におけるシェア日本一(2017年度住宅産業研究所調べ)

大学の「知と技術」を社会のために。



学校法人芝浦工業大学 事業法人
株式会社エスアイテック

代表取締役 鈴見 健夫
(芝浦工業大学 校友会 会長)

お仕事紹介・転職支援をお手伝いします

技術人材募集・登録受付中

エスアイテック

検索



TEL : 03-5859-7930 (金澤・澤中)

URL : http://www.sitech-jp.com

一建設株式会社



代表取締役社長 堀口 忠美

東京都豊島区南池袋2-25-5
TEL 03-5393-3071
URL http://www.hajime-kensetsu.co.jp

株式会社 飯田産業



代表取締役社長 千葉 雄二郎

東京都武蔵野市境2-2-2
TEL 0422-36-8848
URL http://www.iidasangyo.co.jp

ISUZU

「運ぶ」を支える
グローバルカンパニー



いすゞ自動車株式会社

〒140-8722
東京都品川区南大井 6-26-1
大森ベルポートA館
http://www.isuzu.co.jp/

株式会社 東栄住宅



代表取締役社長 西野 弘

東京都西東京市芝久保町4-26-3
TEL 042-463-0220
URL http://www.touei.co.jp

タクトホーム株式会社



代表取締役社長 小寺 一裕

東京都西東京市東伏見3-6-19
TEL 042-464-8788
URL http://www.tacthome.co.jp



関東自動車株式会社

埼玉県さいたま市浦和区仲町2-3-19
TEL:048-831-2611
URL:https://www.kanto-m.co.jp

一般法人・医療法人・学校法人等決算業務
相続税・贈与税申告及び事前対策・M&A等
同族法人等株価対策・その他資産税全般

朱田 税務 会 計 事 務 所

税理士 朱田 光 洋
(芝浦工業大学理事・評議員)
税理士 坂 本 幸 久

〒103-0004 東京都中央区東日本橋2丁目22番2号
ESビル5階

TEL 03-5839-2115 FAX 5839-2116

株式会社 アーネストワン



代表取締役社長 松林 重行

東京都西東京市北原町3-2-22
TEL 042-461-6288
URL http://www.arnest1.co.jp

アイディホーム株式会社



代表取締役社長 久林 欣也

東京都新宿区高田馬場3-46-25
TEL 03-5337-6988
URL http://www.idhome.co.jp

最適環境空間を最新の技術でお届け致します。



三宝電機株式会社

URL: <http://www.seamec.co.jp>

各種電気・計装制御・空調衛生・クリーンルーム設備等

総合設備の企画・設計・施工・メンテナンス

東京都港区西新橋3-8-3ランディック新橋ビル5F
TEL.03-5472-3311



H02 工化卒
伊藤 博之

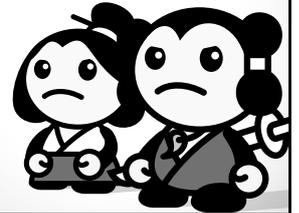
わいん厨房
たるたる

予約用アドレス tartarwine@gmail.com
営業時間 ●PM 6:00~AM 2:00 (土日祝 PM 3:00~)
東京都中央区銀座8-12-1セイコー銀座ビル2F TEL.03-5565-9898

「男と女のワイン術」
伊藤博之・柴田さなえ著
日本経済新聞出版社刊



火の安心を、つくろう。
Wishing for Your Safety



ヤマト Shotetsu 株式会社

芝浦工業大学の多くの卒業生が 当学院で合格を勝ち取っています!

2018年度 1級建築士 設計製図試験

芝浦工業
大学卒業生
合格者受講率

60.0%

当学院
当年度
受講生

卒業生合格者の6割が当学院当年度受講生!
卒業生合格者100名中、当学院当年度受講生 60名

※卒業生別合格者数は、試験実施機関である(財)建築技術教育普及センターの発表によるものです。※総合資格学院の合格者数には、「2級建築士」等を受験資格として申し込みられた方も含まれている可能性があります。※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、資料の提供提供者、過去受講生は一切含まれておりません。<2018年12月20日現在>

総合資格学院は1級建築士試験も、2級建築士試験も

「日本一」の合格実績

合格実績
No.1
1・2級建築士試験

2018年度1級建築士試験

東京都 ストレート合格者占有率

64.3%

東京都ストレート合格者440名/当学院当年度受講生283名
<2018年12月20日現在>

2018年度2級建築士試験

当学院当年度
受講生合格者数 2,179名

●2018~2014年度 1級建築士設計製
図試験 全国合格者合計18,464名
中、当学院受講生10,427名 全国合格
者占有率56.5%

※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会
[No.1表示に関する実態調査報告書]に基づき掲載
しております。※全国/都道府県合格者数・全国/都道
府県スレート合格者数、(公財)建築技術教育普及
センター発表に基づきます。※学科/製図スレート合
格者とは、1級建築士学科試験に合格し、同年度の1級
建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。

※出典<http://www.jksnet.co.jp/nikkens/index.aspx> ※全国合格者5,997名中、総
合格者数2,179名・日建学院合格者2,137名・その他合格者1,681名 ※前
記合格実績および合格者の内訳は2018年12月1日現在のものです。

無料 体験入学会・講座説明会実施中!!

建築士	建築設備士	構造設計1級建築士	設備設計1級建築士
施工管理技士	インテリアコーディネーター	宅地建物取引士	賃貸不動産経営管理士

全国約90拠点で開催!! ※法人向け一括管理サービスなども提供
詳しくは最寄校まで気軽にお問い合わせください。

監理技術者講習	宅建登録講習	宅建登録実務講習
建築士定期講習	管理建築士講習	第一種電気工事士定期講習

法人サポートサービス

企業の将来を担う、若手技術者の育成にご協力いたします。

- ▶ 育成オリジナルプラン作成
- ▶ Web 学習サービス
- ▶ 各種合格ガイダンス
- ▶ 模擬試験・社内講習会 他

学校・学生サポートサービス

総合資格学院は全国の建設系学生を応援しています。

- ▶ 学生向け建設情報誌の発行
- ▶ 建設業界就職セミナーの実施
- ▶ 建設系イベント支援
- ▶ 大学・研究室支援

TVCM 公開中! 詳しくは学院HPへ

総合資格学院
スクールサイト www.shikaku.co.jp
コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp



新宿校 TEL.03-3340-5671
池袋校 TEL.03-3982-8211
上野校 TEL.03-3832-7201
吉祥寺校 TEL.0422-23-6011

五反田校 TEL.03-6408-9711
立川校 TEL.042-524-7841
北子住校 TEL.03-5284-3911
町田校 TEL.042-724-3061

おかげさまで「1級建築士も2級建築士も
合格実績日本一」を達成しました。
これからも有資格者の育成を通じて、
業界の発展に貢献して参ります。

総合資格学院 学院長 斉隆司



Kinden
きんでん

東京支社

執行役員 支社長
榎本 謙司

JRいわき駅より徒歩1分

HOTEL いわき

〒970-8026
福島県いわき市平字白銀町8-9
TEL FAX
0246-23-3188 0246-23-3128
HPからのご予約
<http://www.hotel-iwaki.com/>

みちのく宮城の名産麵
白石風麵 (しろいしうめん) 製造元



株式会社きちみ製麵

代表取締役 吉見 光宣

〒989-0275 宮城県白石市本町 46
TEL 0224-26-2484 FAX 0224-26-2493
<https://tsurigane.com>

消防用設備施工保守管理

赤城工業株式会社

東京都板橋区氷川町43-4

TEL 03(3963)3711(代表)

令和元年 芝浦工業大学校友会全国総会・懇親会

実行委員長 **金井 昭三**
(昭和41年機械二科卒)

〒294-0042
千葉県館山市上野原138-12
電話 (090)1035-8005
メール sho-kanai@sky.plala.or.jp

技術経営人財の育成と活用
一般財団法人
アーネスト育成財団

理事長 西河 洋一 (平成21年大学院 MOT 修了)
専務理事 小平 和一朗 (昭和45年電子工学科卒業)
理事 浅野 昌宏 (昭和44年電子工学科卒業)
評議員 山中 隆敏 (平成20年大学院 MOT 修了)
顧問 吉久保 誠一 (昭和39年機械工学科卒業)

東京都渋谷区代々木1-57-2 704号 TEL(03)6276-6260 <http://www.eufd.org>

私たちは、「現場力」と「提案力」にこだわり、お客様に「安全・安心」と「快適」を提供してまいります。

野村不動産パートナーズ

〒163-0562 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号
新宿野村ビル8階
教育施設事業一部 TEL03(3345)0672
<http://www.nomura-pt.co.jp>

HR 永い歴史と経験に培われた技術力で
HAYASHI-REPIC 皆様のご期待に沿えますよう全力を尽くして参ります

ハヤシレピック株式会社 旧林時計工業(株)
本社 〒170-0004 東京都豊島区北大塚1丁目28番3号
TEL : 03-3918-5237 URL: <http://www.h-repic.co.jp>

第1事業部 ルミナーエース(光源), LED照明, 電動ドライバー
第2事業部 ベルテ式電子クーラー, デジタル温度調節器
第3事業部 半導体組立, 厚膜印刷
第4事業部 同軸コネクター, ケーブル, スイッチ, センサー, チェンバー
第5事業部 パーツフィーダー, 省力化装置, プレス部品, 各種組立作業

連絡先: 安田俊司 平成4年機械二科卒 s-yasuda@h-repic.co.jp
校友会相談役 金井昭三 昭和41年機械二科卒 sho-kanai@sky.plala.or.jp

不動産建設芝浦会

本会は卒業生同士の交流を深め、互いのビジネスをより活発にすることを目的とした会です。建設業や不動産業に興味ある方であれば学部・学科問わず幅広い年齢、業種の方にご参加頂けます。

支部長 清水修司 [S44 建築卒]
副支部長 西河洋一 [H22 MOT 卒] 副支部長 橋本雅夫 [S45 建築卒]
副支部長 佐藤隆之 [H2 工経卒] 副支部長 森大助 [S58 建築卒]

公式HP : <https://shibaurakai.net/>
事務局 : TEL 03-3485-1111 (株) SD 建築企画研究所内)

空気調和・給排水・冷凍冷蔵
設備の設計・施工・保守

Fujinetsu

〒143-0023 東京都大田区山王2丁目5番9号
TEL 03-6429-3600

不二熱学工業株式会社

株式会社 TAW建築設計事務所

代表取締役 渡辺 碩
昭和45年建築学科卒

TAW

〒111-0042
東京都台東区寿2-8-11 リッチライフビル5F
TEL:03-3841-7368 FAX:03-3841-7107
E-mail : taw@mvd.biglobe.ne.jp

総合建築・耐震・リニューアル・専門工事

中島建工株式会社

代表取締役 中島 道宏
埼玉県さいたま市浦和区領家5-12-20
TEL 048-886-8877
<http://www.nakajimakenko.co.jp/>

BADGE & MEDAL FACTORY
NAKAJIMA KISHO Co.Ltd.
since 1918

有限会社 中島徽章
代表取締役 中島博行
(昭和60年 金属科卒)

〒111-0036 東京都台東区松が谷2-16-3
TEL 03-3844-2207 Fax 03-3845-5005
<http://members2.jcom.home.ne.jp/n-kisho/>

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED

日建設計

代表取締役社長 亀井忠夫
東京都千代田区飯田橋2-18-3 <http://www.nikken.jp>

大地とともに歩む
三井住建道路

THE WAY TO THE FUTURE

〒162-0055
東京都新宿区余丁町13番27号
三井住建道路株式会社
代表取締役社長 松井隆幸
TEL 03-3357-9081

三井住建道路は高い技術力により、生活・産業基盤の整備事業を通じ、顧客満足度を高め、社会に貢献します。

ファサードエンジニアリングのリーディングカンパニー

AGB 旭ビルウォール株式会社
URL:<http://www.agb.co.jp>

特別顧問
校友会会長 **鈴見 健夫** (S45 建築)

〒111-0036 東京都台東区松が谷 1-3-5 JPR 上野イーストビル 8 階
TEL.03-5806-3110 FAX.03-5806-9688

代表取締役
泉澤 定雄
(昭和46年 建築学科卒)

有限会社
藍 建築工房

〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町3-21-7
熊谷ビル 3F

TEL 03-5825-6118
FAX 03-5825-6119

長州萩の美酒 長陽福娘

福娘

岩崎酒造株式会社
代表取締役 岩崎喜一郎
山口県萩市大字東田町 58 番地
TEL0838-22-0024

—警備保障—
(常駐、交通誘導、施設警備)
アムス警備株式会社

取締役会長 **森川 理**
(昭和47年電子卒)

〒170-0004 東京都豊島区北大塚
2-16-4
TEL03-3917-6231
FAX03-3917-6356

株式会社 あおぞら
東京都宅地建物取引業協会会員
東京都知事免許(1)第99345号

代表取締役 **橋本 雅夫**
(S45 建築)

宅地建物取引士

〒153-0042 東京都目黒区青葉台 4-2-4-102
携 帯 090-3687-0510
T e l 03-3460-8500
F a x 03-3460-8531
E-mail: gaohashimoto@me.com

岐阜 日本料理
みず

地元の素材を厳選し、地味溢れるお料理で皆様をお迎えしております。

岐阜県岐阜市 米屋町25
Tel 058-265-3601

岐阜支部長 **平井良樹**
1982年 工業経営学科 卒

駐車場システム設計・施工・販売
株式会社 **カズサツポロ**
(日本信号株式会社代理店)

代表取締役 **小川 博司** (S45年工業経営)
〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条1丁目7番19号
TEL (011) 853-5152 FAX (011) 853-5454

UCHIDA
内田洋行

高等教育事業部
〒135-0016
東京都江東区東陽2-3-25
TEL 03(5634)6292
FAX 03(5634)6865

代表 **神尾 雅陽**
昭和57年 建築学科卒

〒311-2215
茨城県鹿嶋市和 825-2
有限会社 エスエス住建
TEL 0299-90-9900
FAX 0299-90-9955
mail kunuginomori@ab.wakwak.com

日本金属グループは、永年培ってきた
圧延・加工技術と情熱で新しい価値を創出し
いつまでも輝き続ける企業を目指します。
市場の変化に機敏に対応できる人材の育成と
幅広いパートナーとの連携により、
世界のお客さまの課題解決に
迅速にお応えしてまいります。

日本金属株式会社
<http://www.nipponkinzoku.co.jp/>

本社：〒108-0014 東京都港区芝5-30-7 TEL.03-5765-8111(大代表)
大阪支店：TEL.06-7711-6133 名古屋営業所：TEL.052-962-6671

高速&低コストのカラープリントで、
学校教育の質を上げる。

■フルカラー毎分160枚*1の高速プリント
■フルカラー 1枚1.44円*2、モノクロ1枚0.50円*2

ORPHIS GD

*1:オプティクスGD9630 9631の場合、A4普通紙片面複写、標準設定連続プリント、GD-エースタン(振動抑制)使用時、2017年6月現在発売の枚数
(カラー紙)オプティクス用カラープリンターにおいて世界最速(当社調べ)、*2:A4普通紙片面、RISO GDインクを使用時、カラーは解像度300dpi、測定画像に
ISO/IEC24712に定めるパターンを使用し、ISO/IEC24711に基づく測定方法によって算出。モノクロは解像度600dpi、測定画像にISO/IEC19752
に定めるパターンを使用し、ISO/IEC24711に基づく測定方法によって算出。用紙代別。*写真はオプティクスGD9630オプション接続時。

株式会社 遠藤製作所
(昭和43年卒 機械工学科)

代表取締役社長 **遠藤 亘持**
ENDOH NOBUYOSHI

〒362-0058 埼玉県上尾市上野 537 番地
TEL.048(725)2061(代)
FAX. 048(725)2063
E-mail: info@endohss.com
<http://www.endohss.com>

ERT
地質調査・環境調査
株式会社 **アースリサーチ**

代表取締役 **富山 光行**
(昭和45年土木卒)

本 社
〒336-0037 埼玉県さいたま市桜区田島5-21-13
TEL 048-844-8651 FAX 048-844-8655
URL <http://earth-r.co.jp>

東京支店・水戸営業所・南埼玉営業所・川口営業所

理想科学工業株式会社 理想三田支店
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル18F
TEL. 03-3453-2241 FAX.03-3453-7981 <http://www.riso.co.jp/>

MIZUHO

“人財”で切り開く！
～建設業界の未来～

UT Upward Together
建設技術者派遣
No1を目指す！
在籍800名
卒業生在籍！

UT コンストラクション株式会社

TEL: 03-6277-1862 FAX: 03-6277-1863
営業拠点 東京・仙台・名古屋・大阪・福岡

Building Dreams
fiato
株式会社 加藤組

代表取締役 **齋藤 寛**

本 社
〒220-8130 横浜市西区みなとみらい2丁目2番1
横浜ランドマークタワー30階
TEL(045)641-7541 FAX(045)664-5360

四国支店
〒771-0141 徳島市川内町竹須賀65
Do・三木ビル1階
TEL(088)665-5655 FAX(088)665-2008

「冷間鍛造技術日本一」
Maruyoshi
丸嘉工業株式会社

経済産業省 戦略的基盤技術高度化支援事業 採択企業

代表取締役会長・社長 **土田 英治**

住所：岐阜県各務原市金属団地68番地
TEL：058-382-7171

ITOKI

明日の「働く」を、デザインする。
We Design Tomorrow. We Design WORK-Style.

株式会社イトーキ
東京都中央区日本橋2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング 〒103-6113
お客様相談センター ☎0120-164177 URL <https://www.itoki.jp/>

優しさと潤いと安らぎを人と環境に
コンクリートブロックの総合メーカー
株式会社 よねざわ工業

代表取締役 **米澤 稔**
(昭和44年 建築学科卒)

〒061-1405 北海道旭川市戸城596番地6
TEL 0123-32-2221(代) FAX 0123-33-1191

<http://www.yonezawa.co.jp/>

SDGsで、未来をつなぐ

三井住友海上は、安心と安全の提供を通じて、持続可能な社会の実現に取り組みます



axona AICHI
80th Anniversary
愛知株式会社東京本部
〒104-0033
東京都中央区新川1-17-25東茅場町有楽ビル1F
TEL: 03-6222-0816 FAX: 03-3555-0016
URL: <http://www.axona-aichi.com>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (Sustainable Development Goals) とは
2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた包括的で持続可能な社会の構築を目指す「持続可能な開発目標」のことです。

持続可能な地球環境	安心して暮らせる社会	活力のある経済活動
関連する主なSDGs: 13, 14, 15 主な取組: ・再生可能エネルギーの普及支援 ・自然災害リスクモデルにもとづくコンサルティング	関連する主なSDGs: 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11 主な取組: ・健康づくりの支援 ・先端技術を活用した利便性の高いお客さま対応	関連する主なSDGs: 8, 9, 10, 11, 12, 13 主な取組: ・次世代モビリティ社会への対応 (自動運転車等) ・災害に強いまちづくりの支援

戸田建設

TODA Group Global Vision
“喜び”を実現する企業グループ

立ちどまらない保険。MS&AD 三井住友海上 | 三井住友海上は、レジリエントでサステナブルな社会*をめざします。
*外部環境にシなやかに対応する、持続可能な社会

建築とまちづくり

株式会社 **アルセッド建築研究所**

代表取締役 所長 **三井所 清典**
代表取締役 副所長 **大倉 靖彦**

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1丁目20番1号
電話 03-3409-4532 FAX 03-3409-3394
<http://www.alsed.co.jp>

竹中工務店グループ
TAKENAKA

建物を育て 未来へつなぐ

アサヒ ファシリティズ

建物維持管理事業 / 不動産事業 / 保険代理事業

本社: 〒136-0076 東京都江東区南砂2丁目5番14号
TEL. (03) 5683-1181

営業拠点: 札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・京都・神戸・高松・広島・福岡

「祝 全国総会」



芝浦工業大学校友会

令和元年の全国総会を皆様と盛会の内に迎えられますこと衷心よりお慶び申し上げます。母校100周年へ向けてのご協力を宜しくお願い申し上げます。

会長	鈴木 見	健 夫	(昭和45年 建築学科 卒)
副会長	加藤 藤	善次郎	(昭和55年 機械工学科 卒)
副会長	吉池	富士夫	(昭和51年 金属工学科 卒)
副会長	林田	和雄	(昭和52年 建築学科 卒)
副会長	釜井	重哲	(昭和55年 建築学科 卒)
副会長	本間	一哉	(昭和56年 電子工学科 卒)
監査役	辻村	建生	(昭和46年 建築学科 卒)
監査役	小川	春嗣	(昭和51年 通信工学科 卒)
監査役	飯島	秀	(昭和54年 機械工学科 卒)
常任幹事	谷川	敏幸	(昭和57年 機械工学科 卒)
議長	依田	幸	(昭和51年 金属工学科 卒)
事務局長			

校歌

旧校歌

第二応援歌

山田耕作 作曲
北原白秋 作詞

須川政太郎 作曲
有元 史朗 作詞

一、朝日に輝く 風と潮

雄大 空あり 雲は移る

仰げよ校旗の 翩翻たるを

白亜の殿堂 ここに聳え

われらが工学 英気鍾む

芝浦 芝浦 われらが母校

二、世紀に脈つづ 熱と理性

剛健 矩あり 常に鍛ふ

行へばがらに 澆刺たれや

師弟の純情 一に依りて

磨くこの技 神に通ず

芝浦 芝浦 われらが母校

三、永遠に栄ゆく 意思と秩序

誠実 ただあり 道は徹る

夢むな空理の 漠々たるを

精微をきはめて 事に即かば

工学日本 大を成さん

芝浦 芝浦 われらが母校

一、巨鯨潮吹き鵬の舞つ

旭陽つけて天そる

関東の野に麦萌ゆと

雲雀天に告げんとす

二、東京湾頭波もなく

都の枢要地を占むる

林は繁しいや栄え

三、科学の世界工業の

先人夢に見しところ

今人夢に見るところ

四、曲学阿世時得とも

権花一朝の栄えあり

まことの学の権威あり

五、世界文化に貢献し 人類の平和招くべく

太古バビロンに夢むてふ

学徒の荷つ務めなれ

六、キイツはいいぬ美しき

趣味実用を兼ね備つ

使命は重しわが肩に

●荒波浴びる

荒波浴びる芝浦に

そびゆる工大わが母校

伝統ここに五十年

文化の渦潮導きて

静穩精進に敵はなし

おお芝浦エンジニア

第二応援歌

一、雄図秘めし若人の

胸高鳴るや いかにせん

芝浦健児 ここにあり

正々堂々 たたかわん

最後に取るは 勝利なり

芝浦 芝浦 芝浦

二、錬磨の日々ぞ 涙あり

聞けよ王者の おたけびを

芝浦健児 ここにあり

正々堂々 たたかわん

必ずとるは 勝利なり

芝浦 芝浦 芝浦



芝浦工業大学 校友会